

オークの巣窟 禁忌の協定

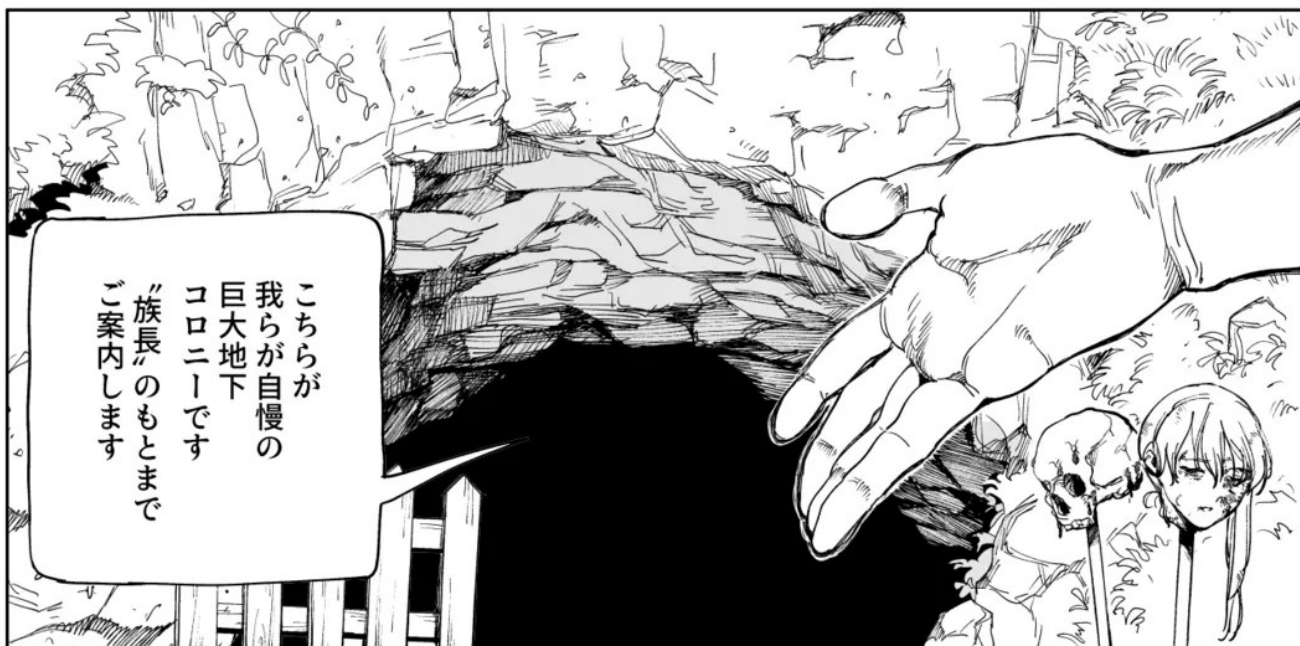


首切り (kubikiri)

R18G
成人向け

この作品はフィクションです。作中には暴力的表現が含まれています。暴力行為を
推奨するものではありません。





こちらが
我らが自慢の
巨大地下
コロニーです
族長のもとまで
ご案内します

オークの巣窟 禁忌の協定



こちらの通路は
地下の広間に
繋がっています

足元に
気を付け
ください

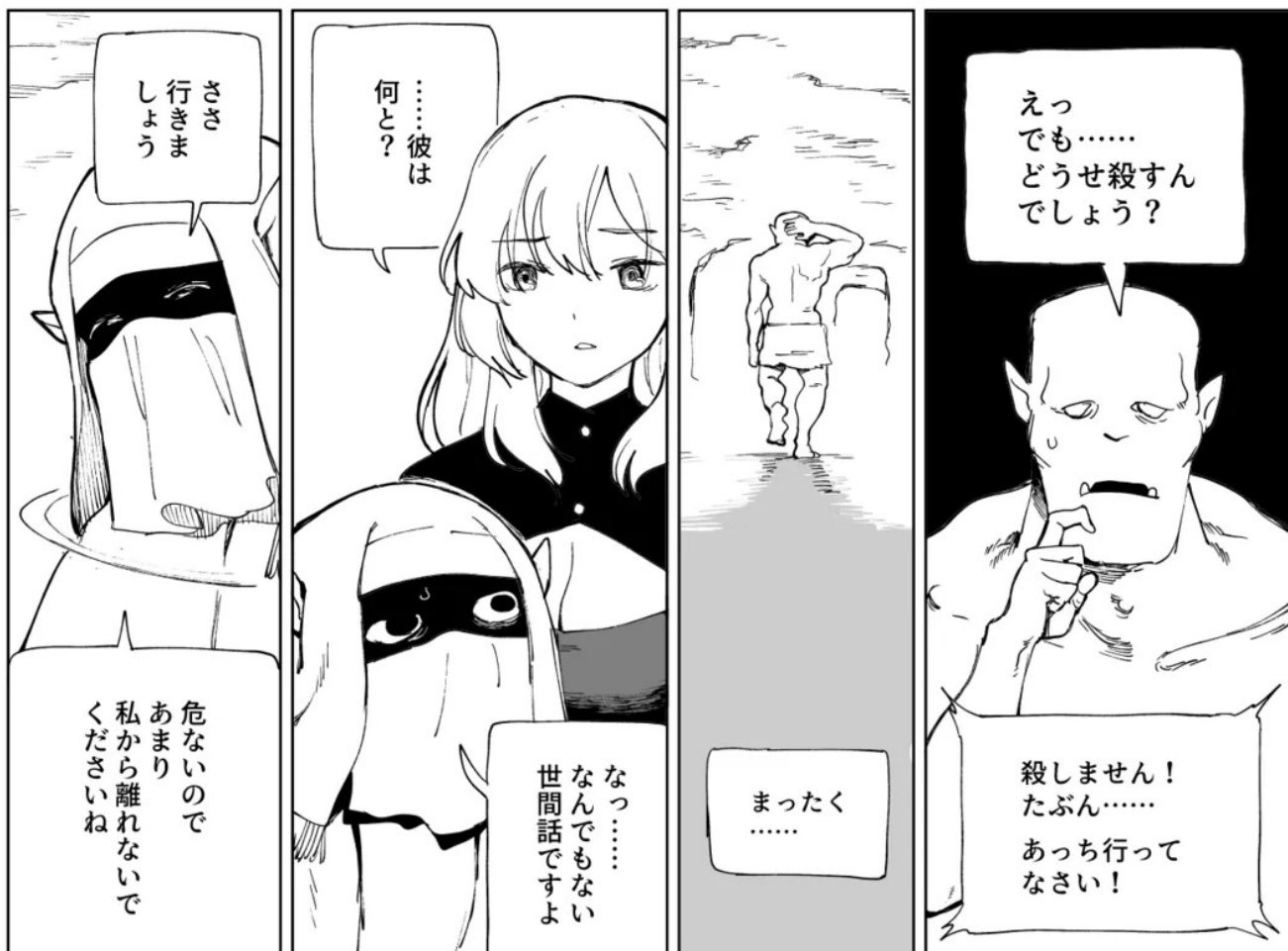
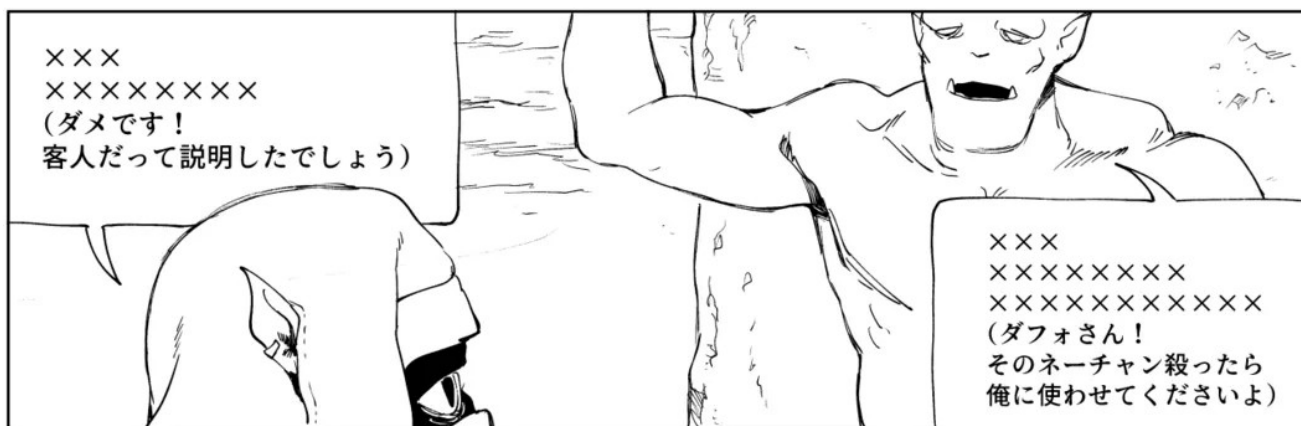


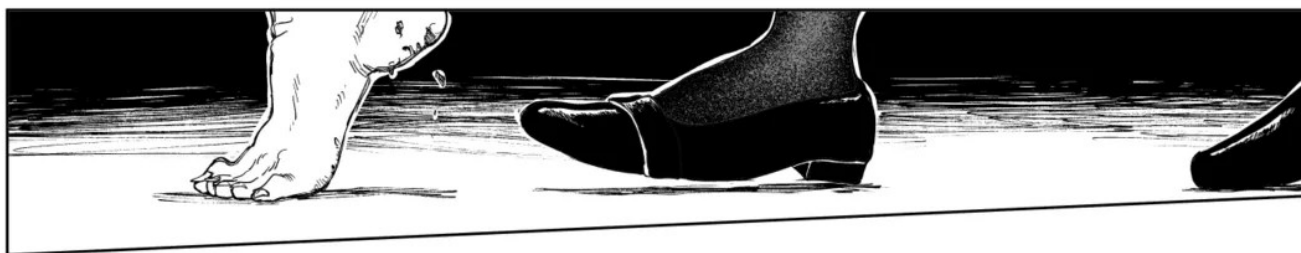


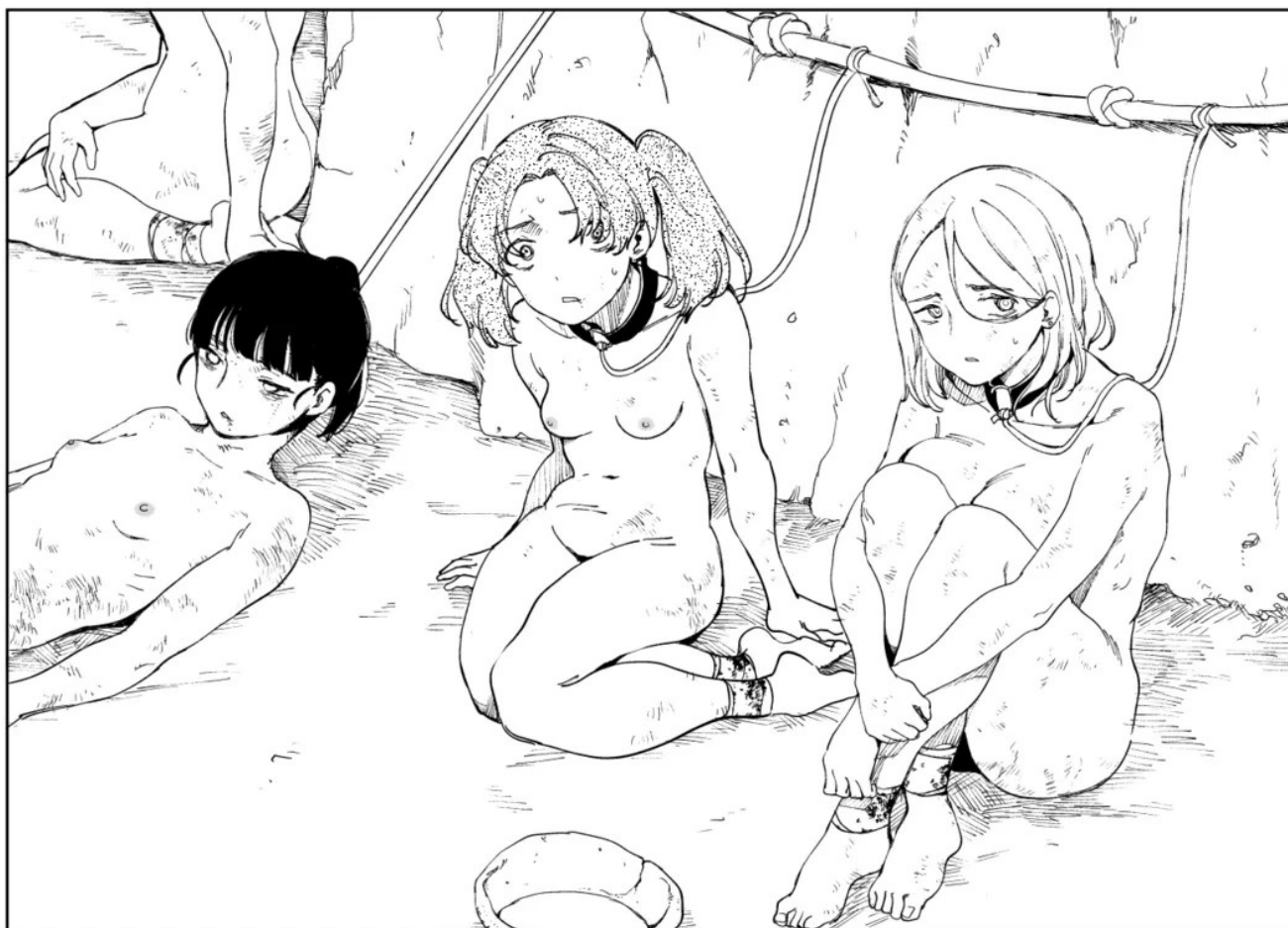
ここから
様々な通路に
繋がっています

皆が
自由にすごす
交流スペース
でもあります





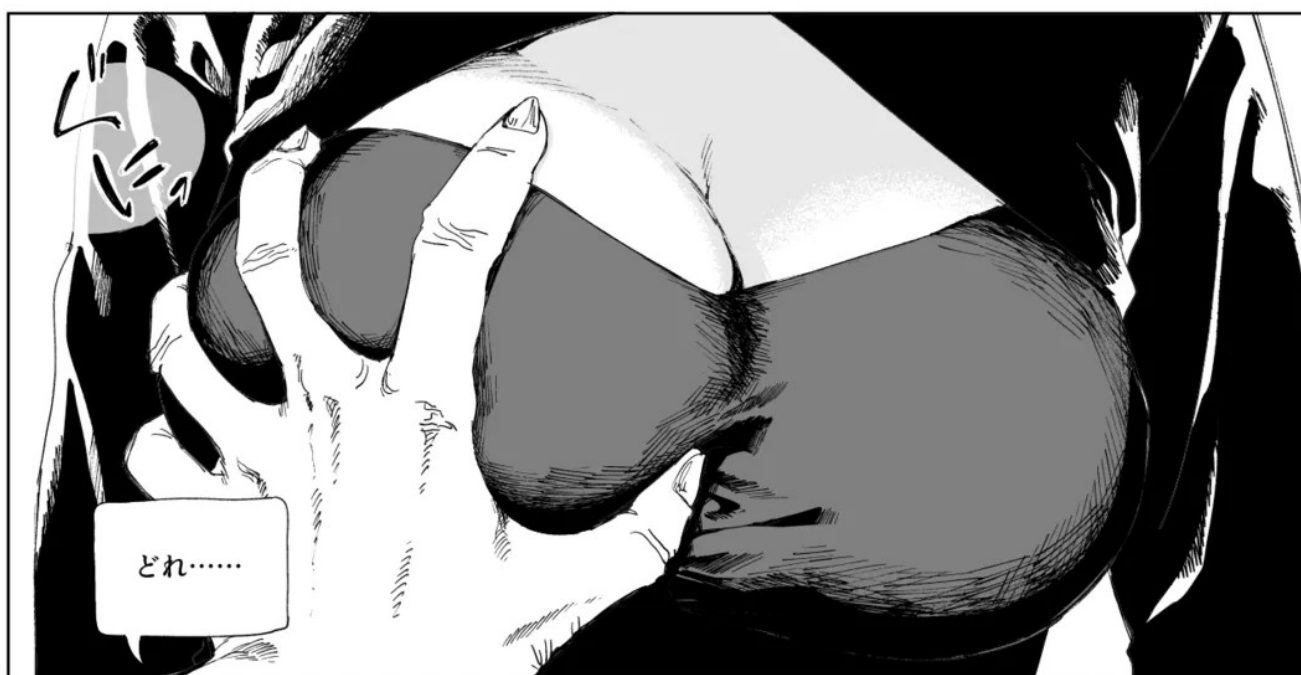


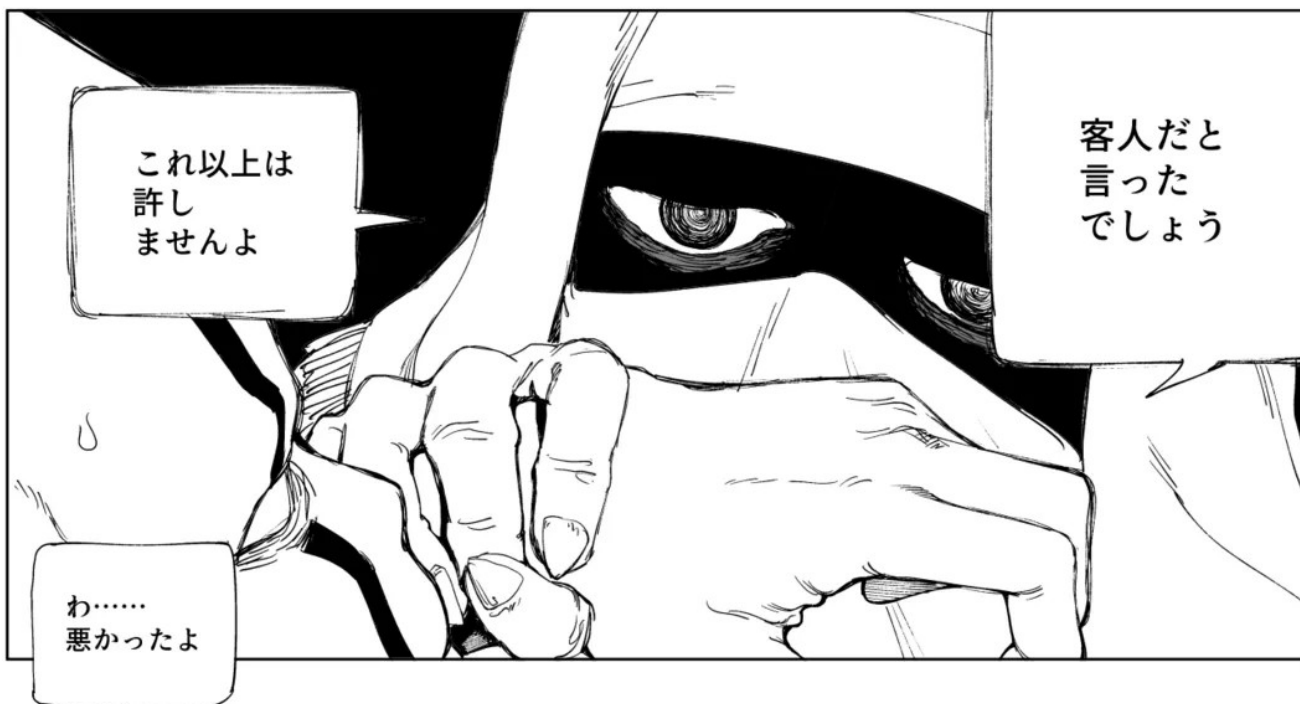
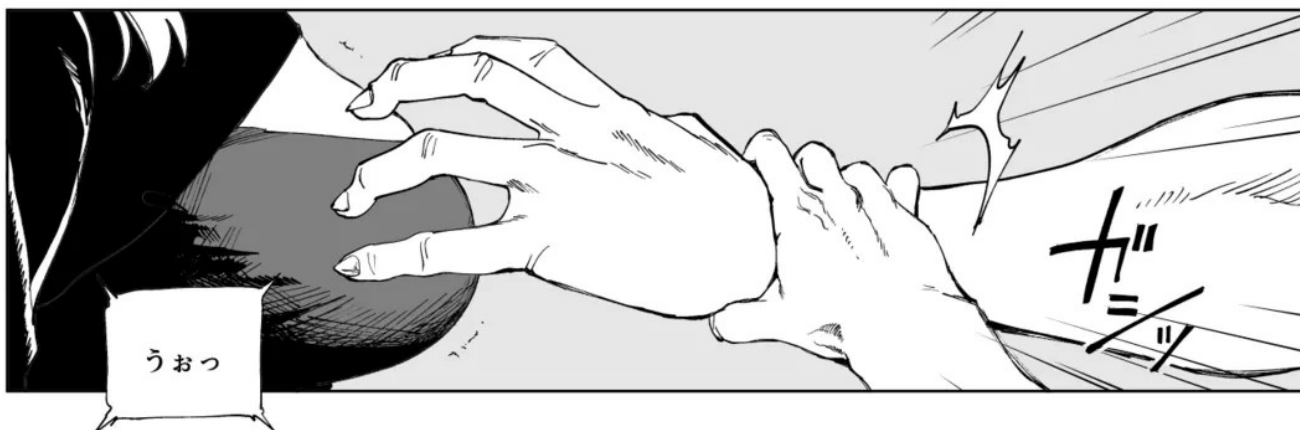
















彼が今見せて
くれているのが
死体の腐敗を
遅らせる魔法
ですね

薬品漬けほど
長持ちでは
ありませんが
不敗の進行を
遅らせられます
二十倍といった
ところですか



すごい……
どれも
エルエルト国
には
ない技術です

そうか……
やけに新しい
死体が
多かったのは
こういう理由が
あったんですね

この魔法……
『腐敗停止』
でしょうか？
以前本で
読みました

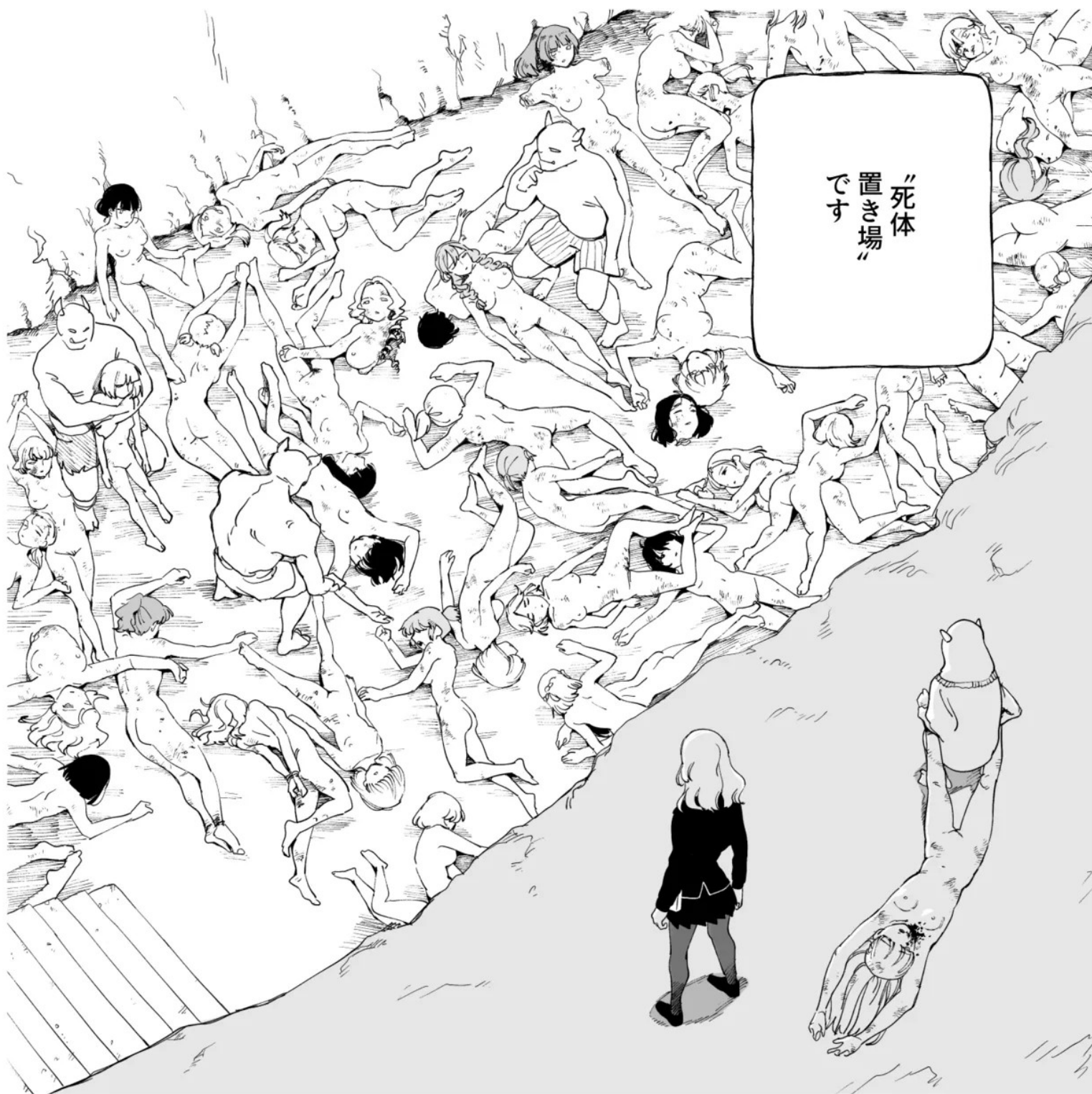
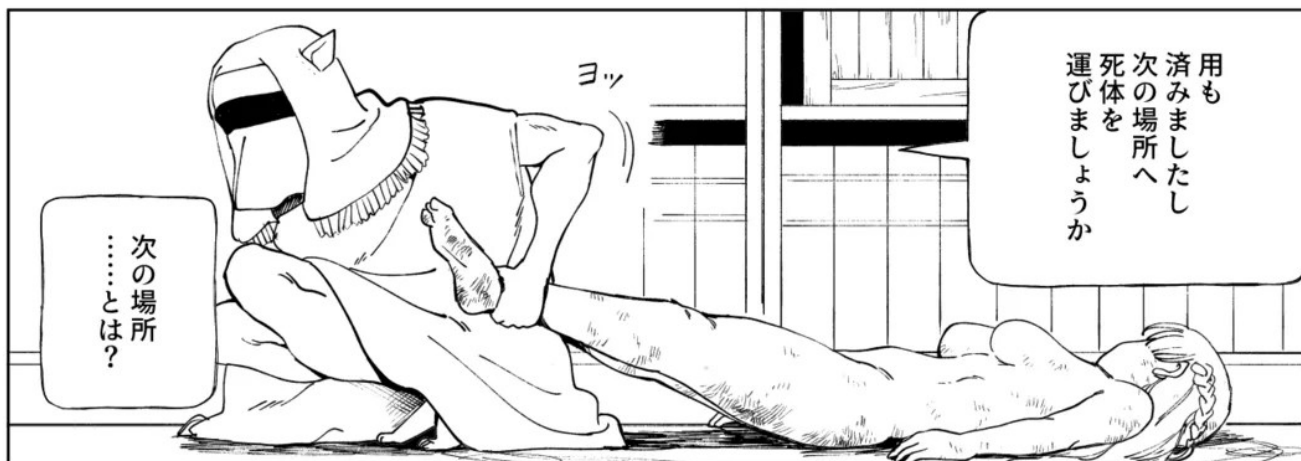


これは
『腐敗遅延』
という魔法
だそうです

『腐敗停止』は
最高位魔法と
呼ばれる
伝説の魔法で
自分には使えないと

でもいつか
必ず自分が
到達して
みせると
言っています

がんばって
ほしいですね









あっち側には
見た感じ古くて
状態の悪く
なったものが
多いですし……

そうですね
簡単にですが
皆さん分別して
いるようです



この死体……
種類や状態で
分けて
いますよね



あちらは
……なんで
しょう

どの死体も
首がなくて
それに
損傷も多い
ような……



さすが
イザヨイ様！
素晴らしい
着眼力！

えっ



あの死体たち
について
説明
しましょう！

いえ！
説明させて
ください！

お……
お願い
します



あれは
小隊長「ロッダ」の
死体です

特別に
保持液につけて
保存しています
……今は使用中
みたいですが

どうか
されまし
たか？

いえ……
彼女には
以前
お会いした
ことがあり

えーっ!!
生前の
ロッダと
お知り合いで
……!!

会合の場で
一度同席した
だけなので
向こうは私を
覚えて
いなかったかも
しれませんが

なるほど……
外交官
ですもんねえ

ご友人などで
ないなら
安心しました

小隊のことは
後ほど詳しく
お話すること
なるでしょう
今回の件に
大きく関与する
ことですからね

ドキッ

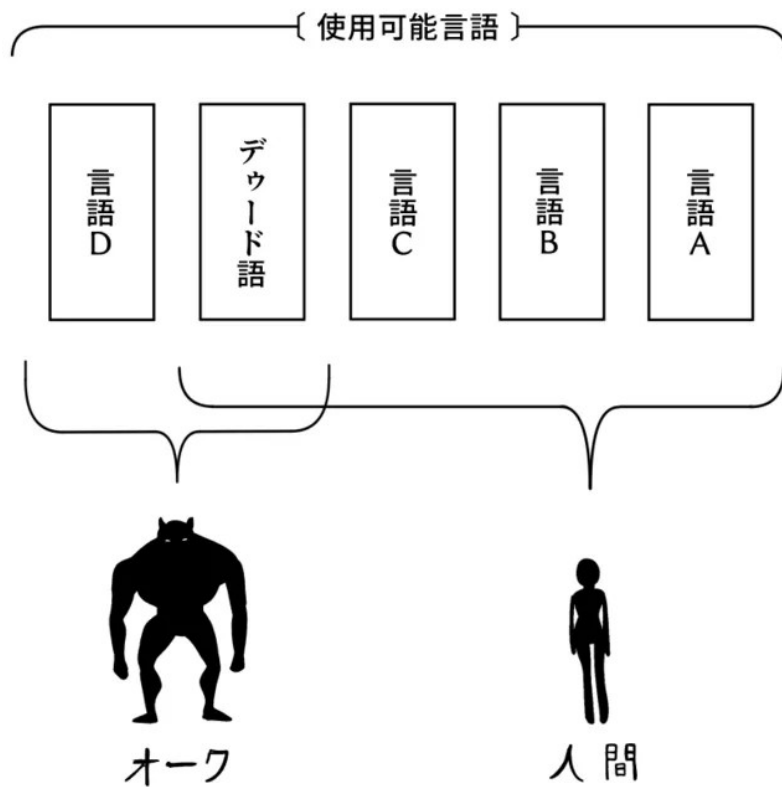
ロッダ……



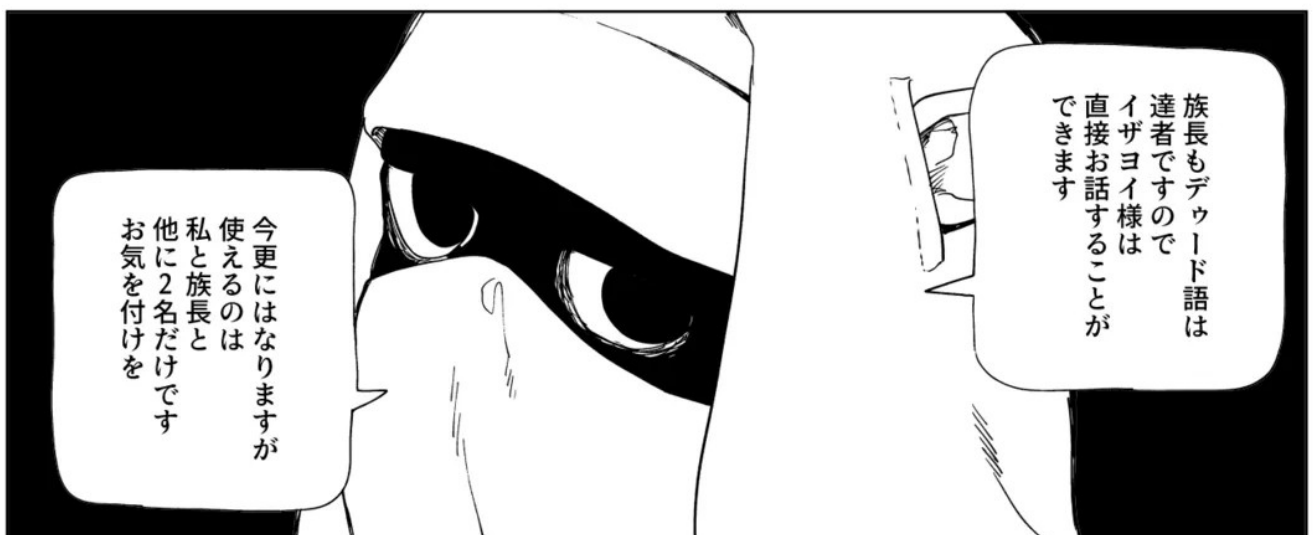


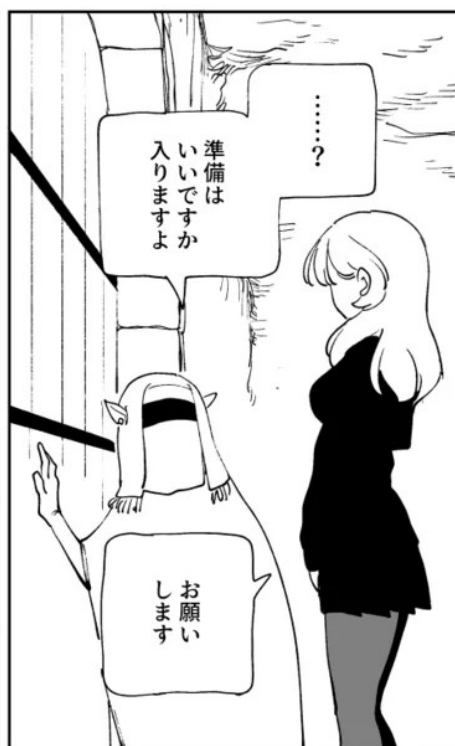
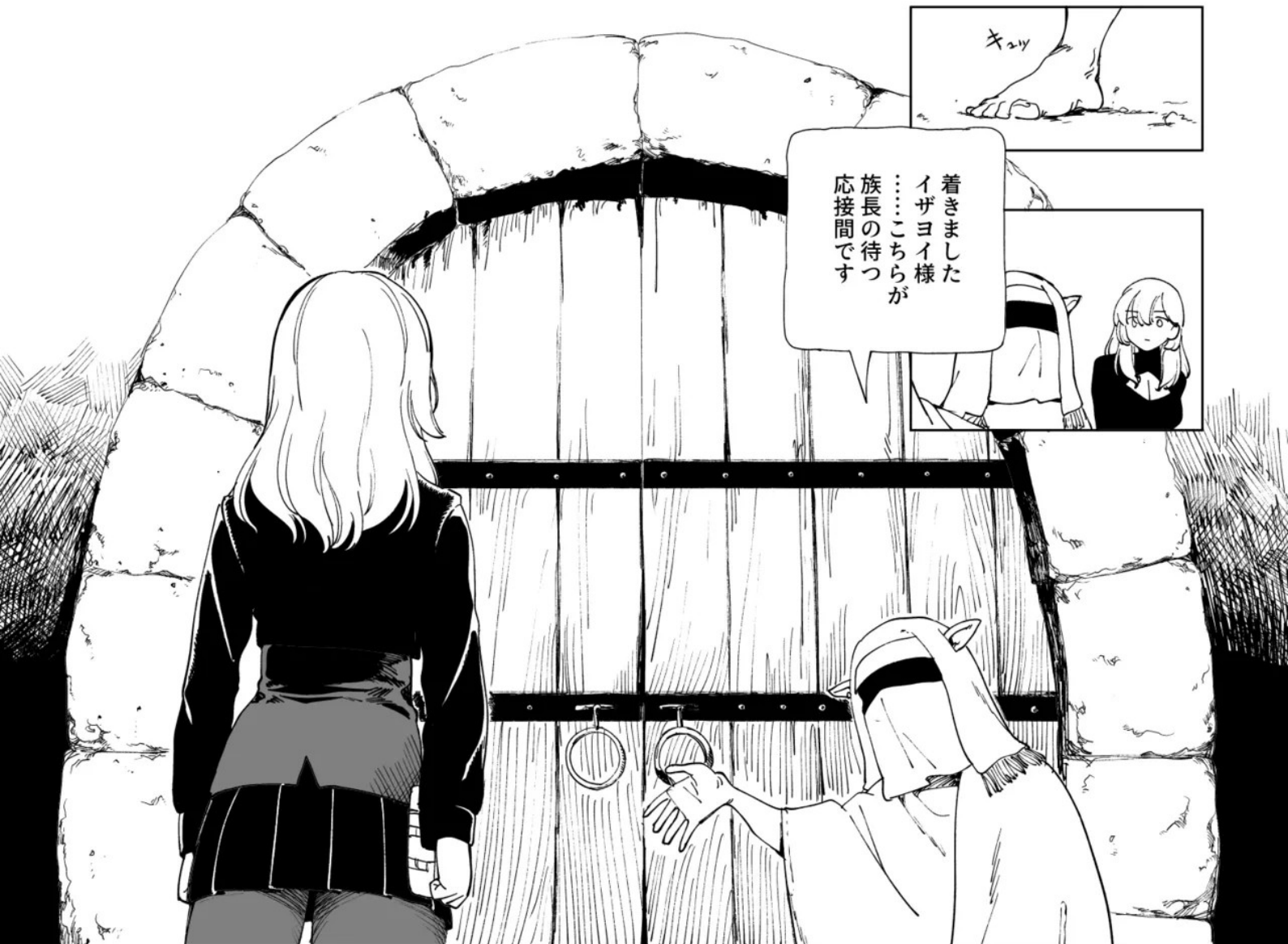
「デウード語とは」

人間とオーク種は発声・聴音機構が異なり互いの言語を理解することは困難である



デウード語は両種の発声・聴音可能範囲のみで構成されており、両種が習得することが可能な唯一の言語なのである









飲みながらも
話そう
じゃあないか



よくできた
觸體杯だろう？
遠慮せず
使いたまえ



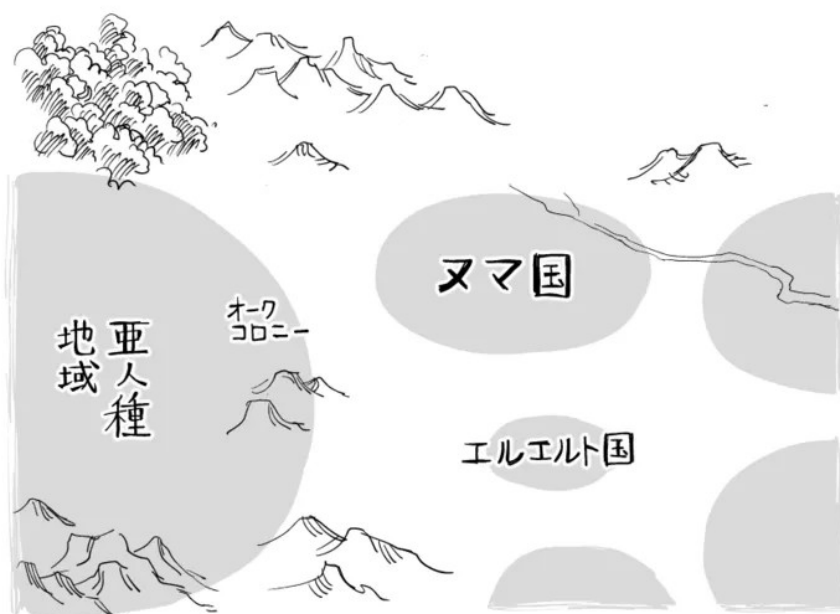
さて……
話を聞こうか

では……我が国
エルエルト国と
ヌマ国との
こと……

そして
エルエルト国が
あなたがたに
持ちかける
協定案について……



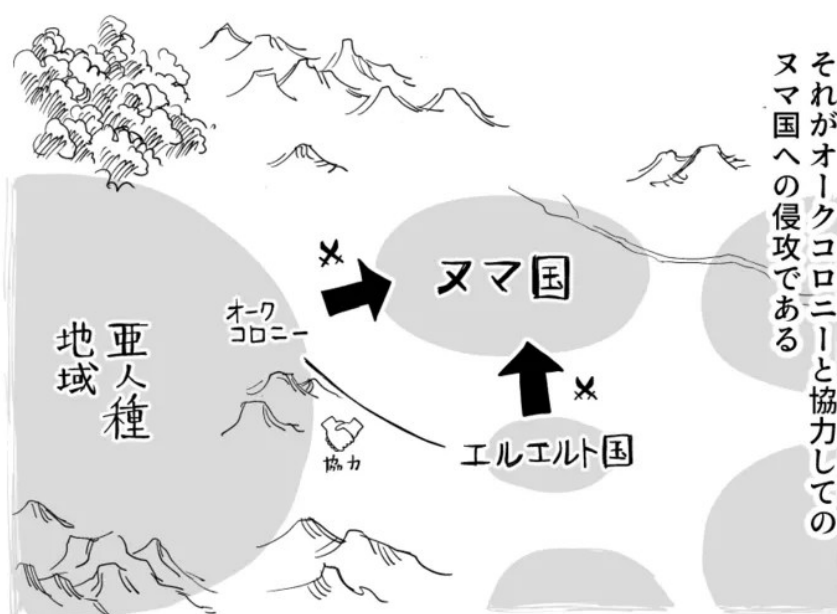
“エルエルト国”と
“ヌマ国”
そしてヌマ国西部に位置する
オークのコロニー



本件にはこの3つの勢力が
かかわってくる



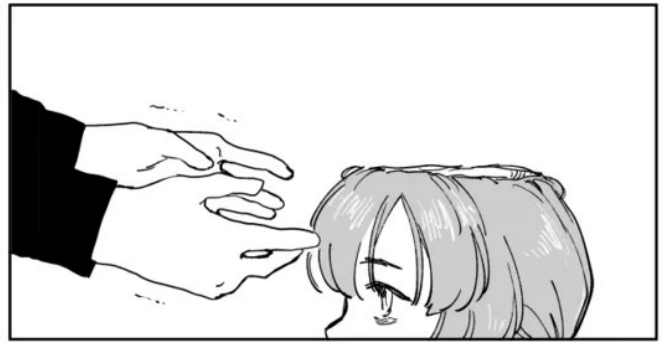
エルエルト国はいくつかの要因から
国家存亡に関わる
切迫した状況下にあった
状況を打開すべく図った奇策
それがオークコロニーと協力しての
ヌマ国への侵攻である

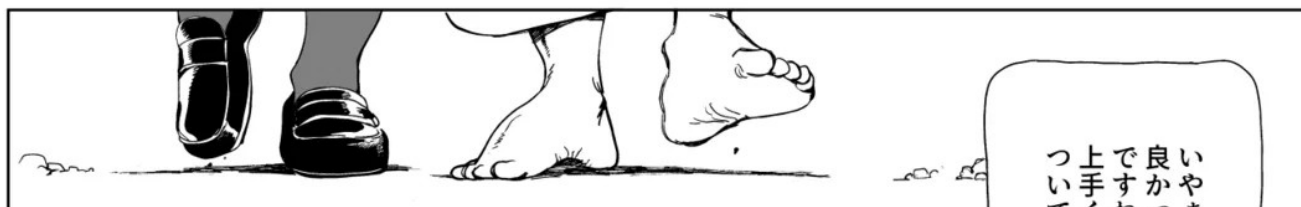


イザヨイは自国に不利な情報を隠しつつ
この協定がいかに
お互いに利益あるものかを説明した

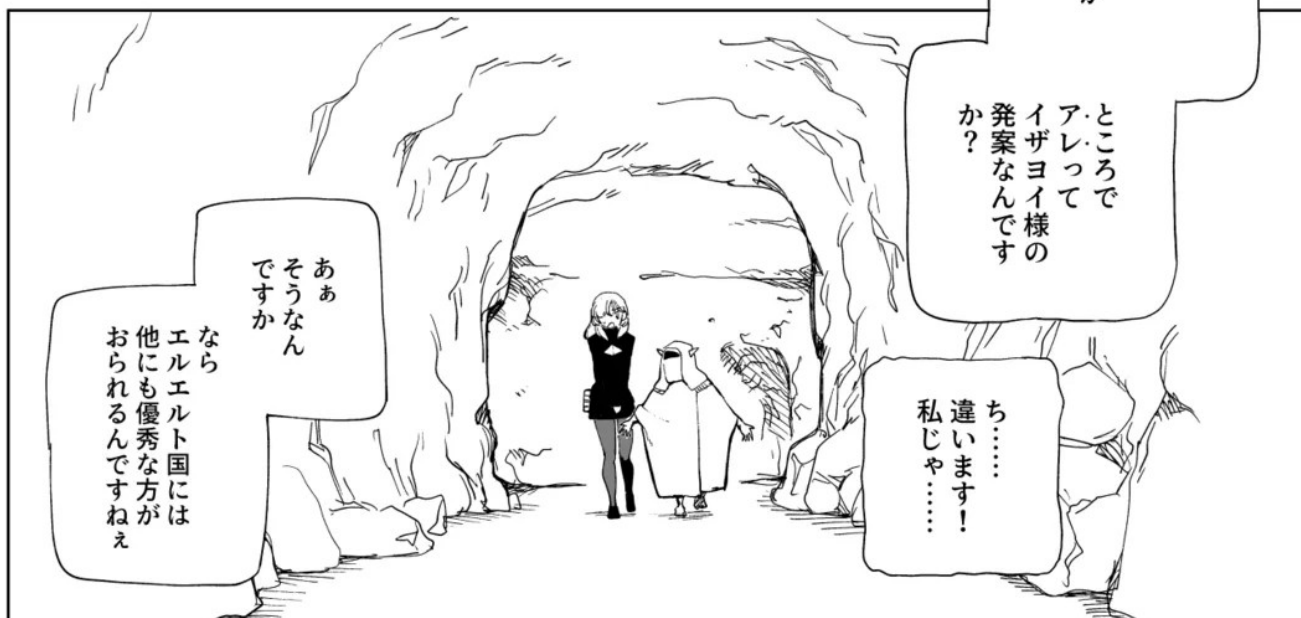








いやあ
良かった
ですね！
上手く話
がついて



ところで
アレって
イザヨイ様の
発案なんです
か？

ち……
違います！
私じゃ……

ああ
そうなん
ですか

なら
エルエルト国には
他にも優秀な方が
おられるんですねえ

それで
ですね……

そう……
私じゃ
私じゃない

私はただ
この件を
伝えて……

協定を締結
させる……
それだけが
仕事……



いや……
私はやるべき仕事をし
て目的を達成した
それでいいんだ

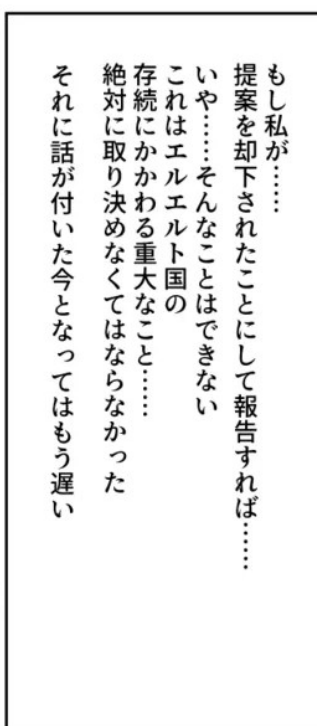
でも……！
いや……考えるな



メベール小隊……
既に壊滅していたなんて……
実はヌマ国は弱体化していた……？
ならオルクの協力を求めなくても……

いや……それは
あまりに楽観的
……ありえない

しかし……
オルクの勢力が想定よりも強いのなら
ここで協定を結ぶことが将来的な脅威に……



もし私が……
提案を却下されたことにして報告すれば……

いや……そんなことはできない

これはエルエルト国の
存続にかかわる重大なこと……

絶対に取り決めなくてはならなかった

それに話が付いた今となってはもう遅い



返礼品は……
他国から……奴隷などで……

方法がよく聞いてないけれど……
とにかく用意できるらしい……

国民ではない……
関係ない人たちを……

100人……

いや……

たかだか100人……！

でも……





そう思う
でしょう!?
イザヨイ様!



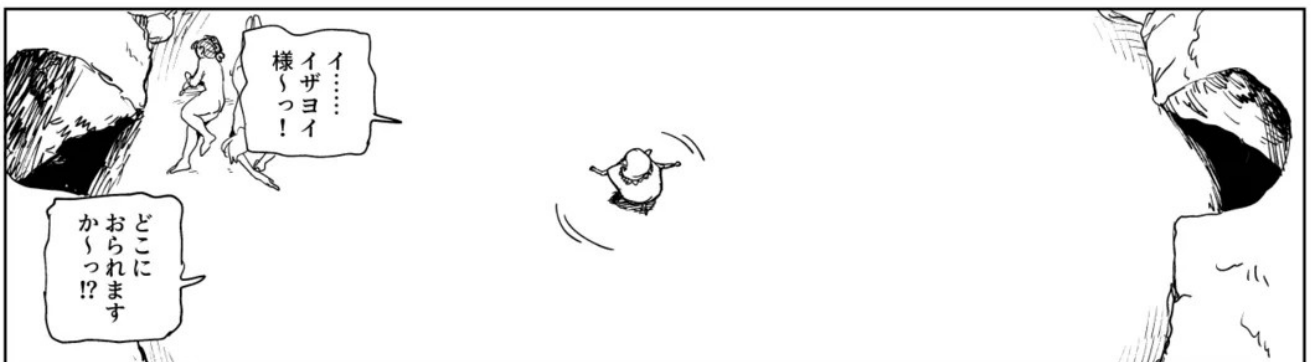
——もちろん大きな反発も
あるでしょう! 障害が
立ちふさがることでしょう!
ですが一歩ずつ
歩みを進めることで
いつしか必ず実現することが
できるはずです!

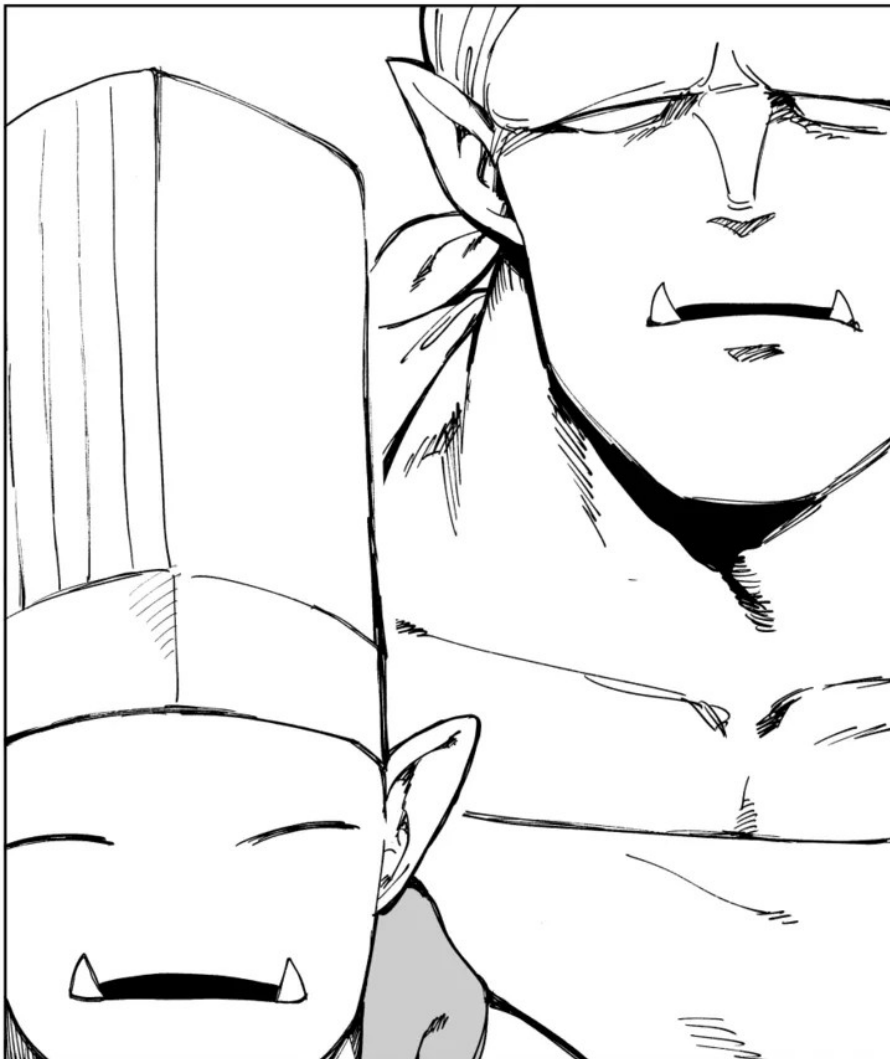


——そこで人間貿易!
良いじゃないですか!
これまでは略奪という手段を
とっていましたが今後は
お互いのルールに則った
クリーンな手段で女を——



——もともと族長はあまり
積極的ではなかったんです
ですがこうして
協定関係は結ばれた!
イザヨイ様が我々に友好的に
歩み寄ってくれたおかげです
人類とオーク族
その友好の歴史が——



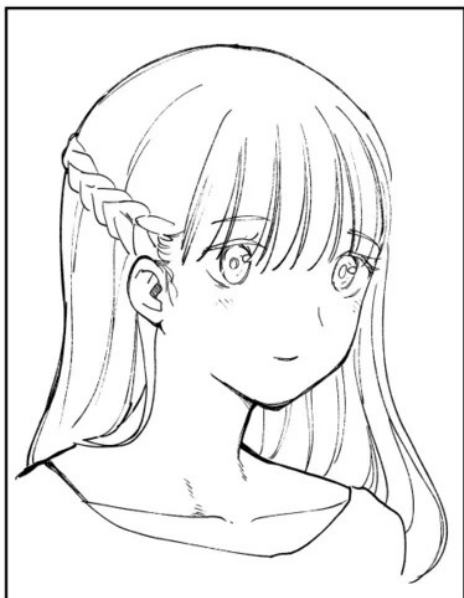


うっ

アッ!!

ボッ





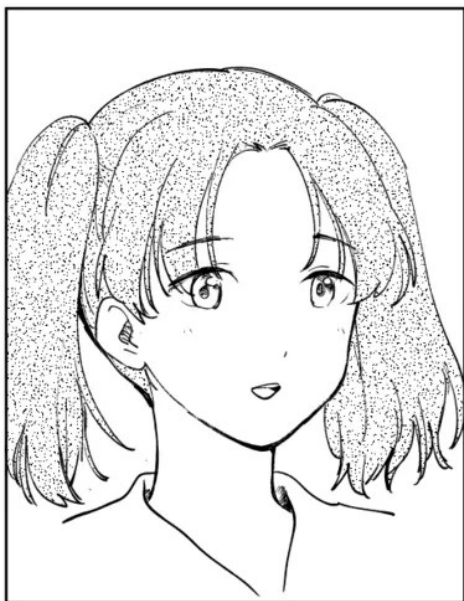
シャン(19)

農村部の出身。隣村の農家のもとに嫁いだ少し後にオークの襲撃を受け巣窟に連行された。巣窟に来て32日目、頸部を刺され死亡した。この場で殺害されなかったとしても翌日には衰弱死していただろう。



エルザ(28)

夫と2歳の息子がいたが目の前でオークに殺害される。その際に少しも戦おうとせずに逃走してしまったことを後悔している。巣窟に来て12日目。



カタリーナ(17)

巣窟に来て3日目。生還の希望をまだ捨てていない。エルザとは巣窟で知り合い心の頼りにしているためあまり離れないようにしている。



エディス(20)

冒険者。「オークに捕らわれた娘を救助してほしい」という依頼を受け巣窟に侵入する。しかしオークとの対面を避けられず戦闘になり、敗北し捕らわれてしまう。その際にオーク1匹を殺害、2匹に重軽傷の怪我を負わせたためオークらの恨みを買った。

本人の目の前で下半身を犯す様を見せつける遊びが流行る。巣窟に来て3日目。この2日後に死亡。



フィノラ(21)

啜えさせられたオークの陰茎に噛みついたため生きたまま食肉加工部屋に落とされてしまう。前日に彼女の友人がそのオークに鬭り殺しにされおりその復讐であった。噛み切るつもりだったが深い傷を付けることはできなかった。

解体されこの日の晩に刺身としてオークらに振る舞われた。首はフィノラに陰茎を噛まれたオークが私物化している。



セリア(27)

族長ザルポのここ数日のお気に入り、応接間に連れ込まれて使われるほどであった。もともとは小さな町で教師をしていた。

メアリー(16)

先月死亡

モーラ(15)

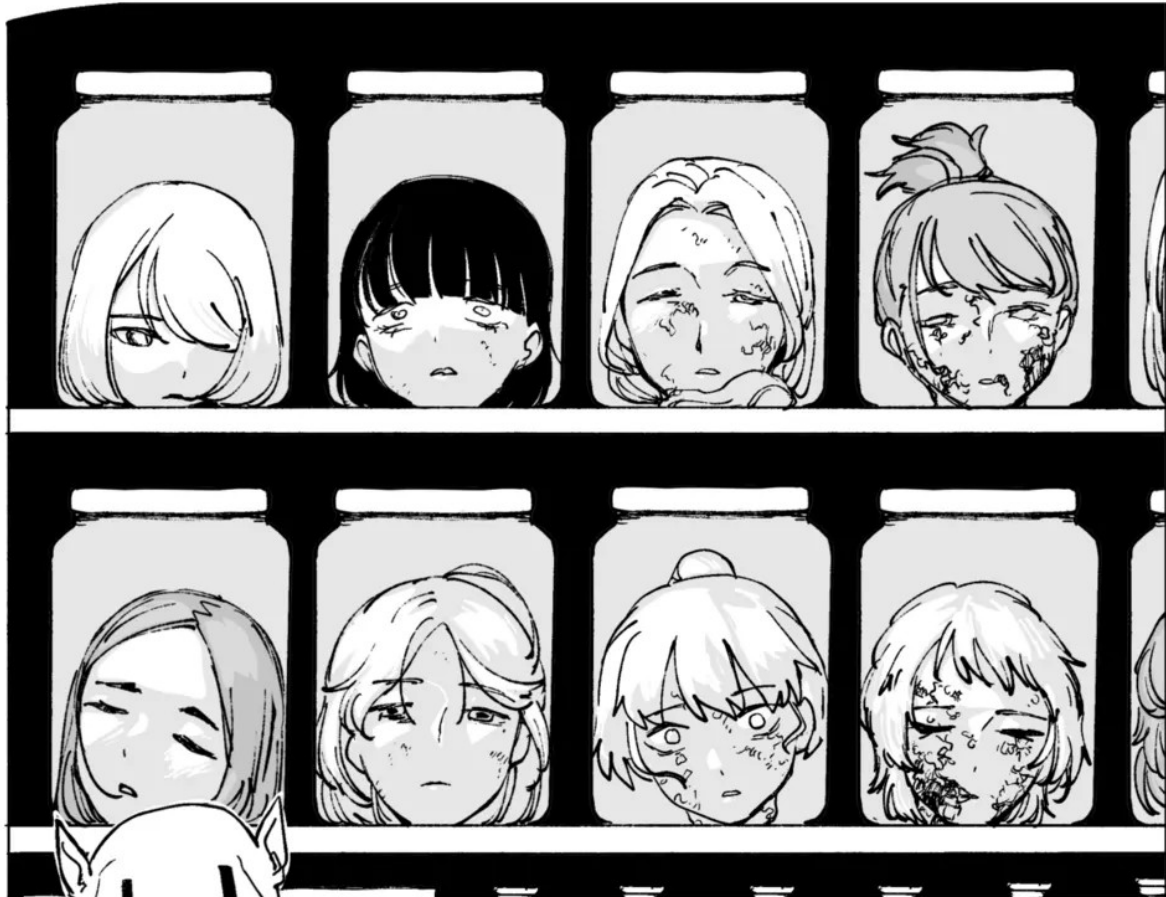
2年前に死亡

フィノラ(31)

4年前に死亡

ジェン(18)

6年前に死亡



マジェーリ(24)

先月死亡

シャンテル(27)

2年前に死亡

ジーン(20)

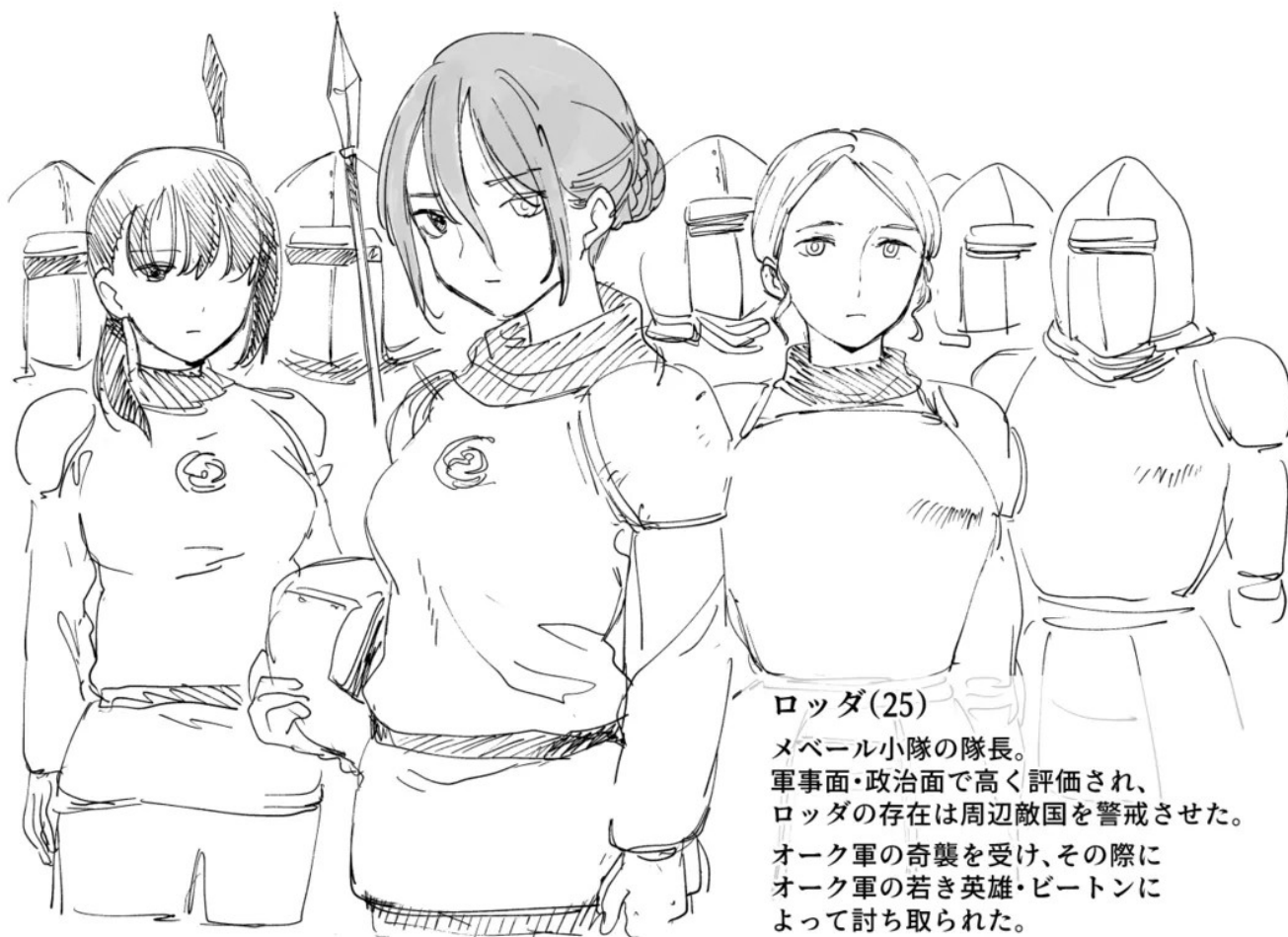
4年前に死亡

アマベル(21)

6年前に死亡

保持液と呼ばれるンドロボドロの開発した特殊な液体は
死体を浸らせることでその間
不敗の進行を大幅に遅らせることができる。
改良を重ね精度は年々向上している。

死亡時の条件を揃えるため、
実験体は生きたまま首を切られ、その場で血抜き・洗浄され瓶に詰められている。
それらはすべてンドロボドロ自らが心を込めて行っている。



ロッダ(25)

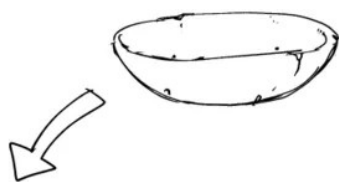
メベール小隊の隊長。
軍事面・政治面で高く評価され、
ロッダの存在は周辺敵国を警戒させた。
オーク軍の奇襲を受け、その際に
オーク軍の若き英雄・ビートンに
よって討ち取られた。

[メベール小隊]

ヌマ国軍の女性のみからなる30人ほどの部隊。
兵士個々の練度が高くヌマ国最強の部隊と呼ばれることも多かった。

ヌマ国西部には亜人種族が支配する地域が広がっている。
西部での国防はメベール小隊が中心となり行われていた。

オーク軍との戦闘の末、策略面で後れを取り大敗を喫し、メベール小隊は壊滅。
兵たちの亡骸が祖国に還ることはなかった。



切除した頭蓋骨を
逆さに返してはめ込む



髑髏杯

飲み物がなんだか美味しくなる
取っ手と飲み口に改良の余地あり

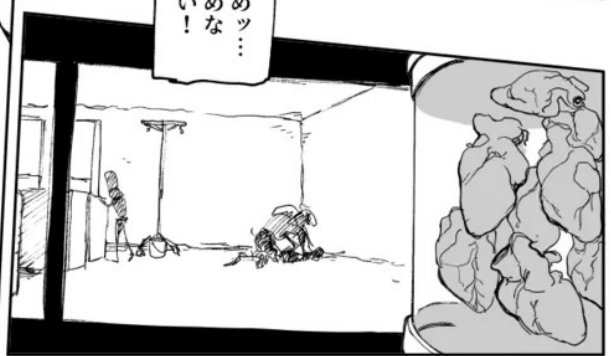
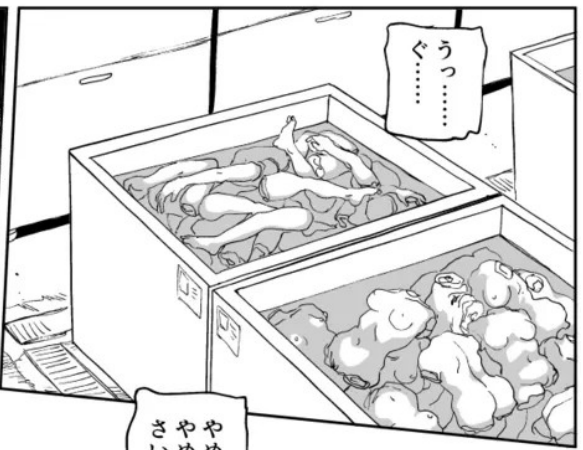


こう飲む









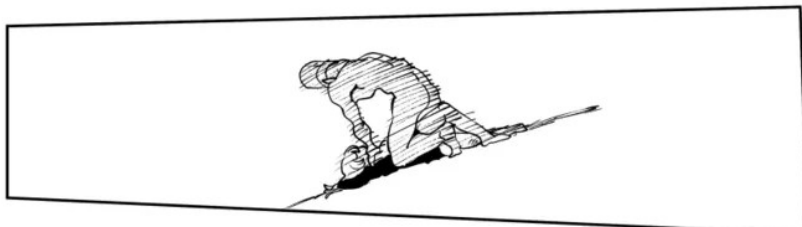








だったら
無理矢理
鳴かせれば
いいだけネ





ふう……
かなり
良かったネ

じゃあ
そろそろ……
"済ませる"か



ドルトン
死体のエロスの
絵画表現を模索中



ボボ
花より団子よりセックス

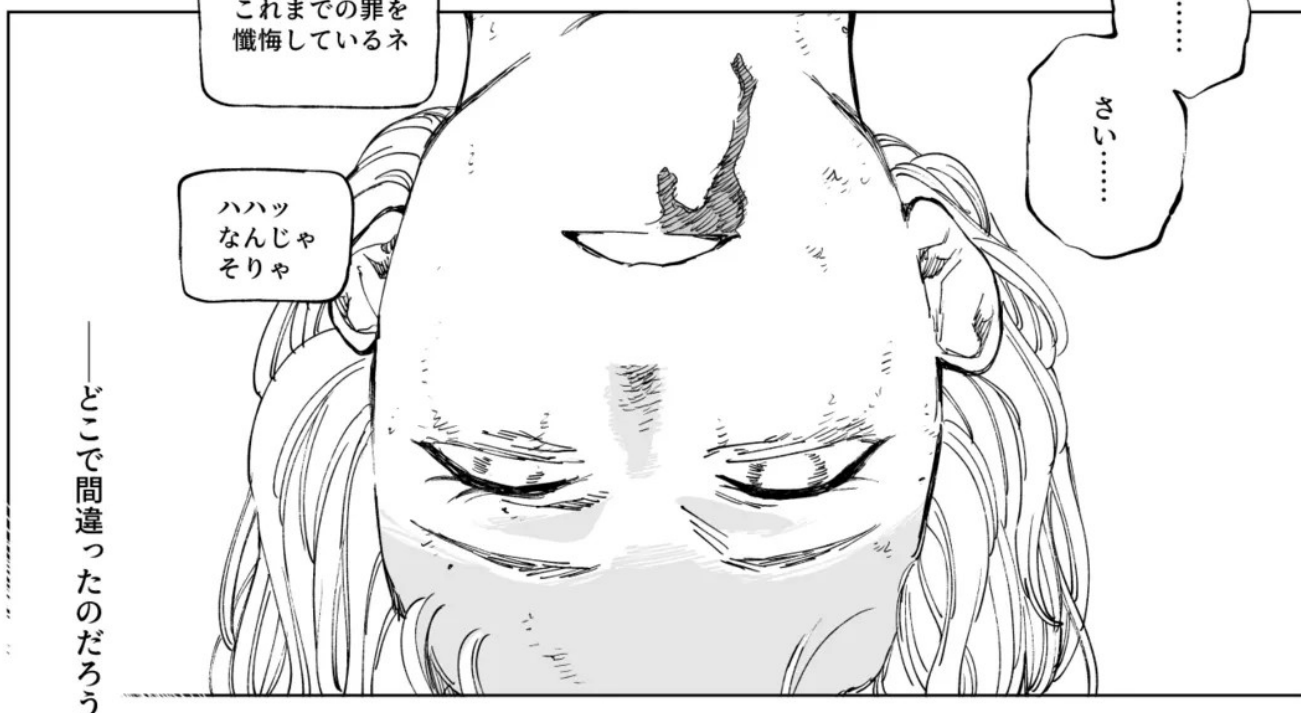
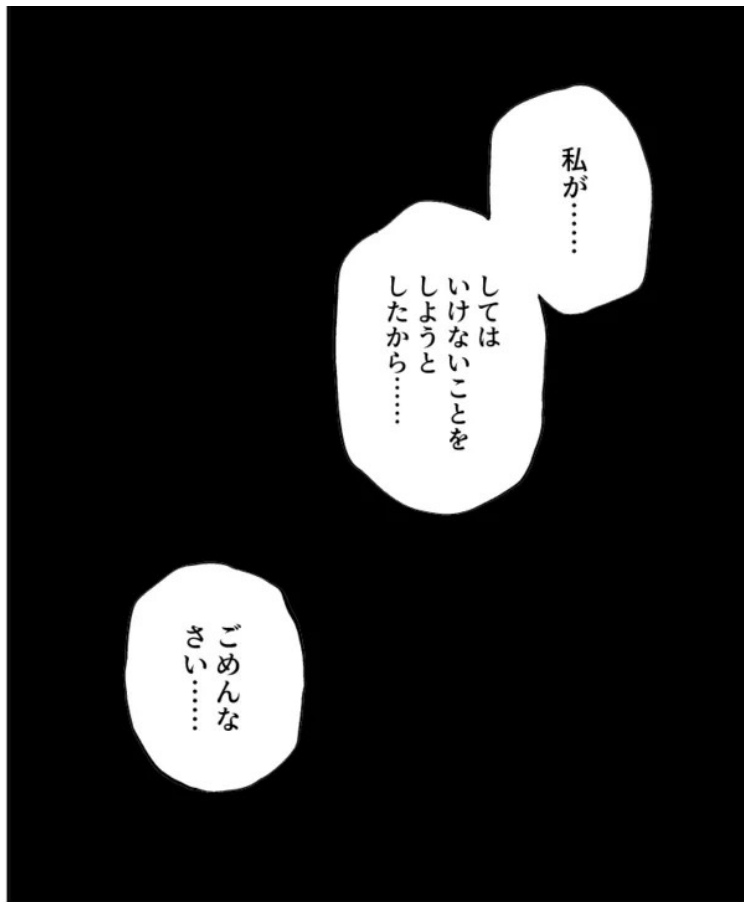


よし
吊るすネ

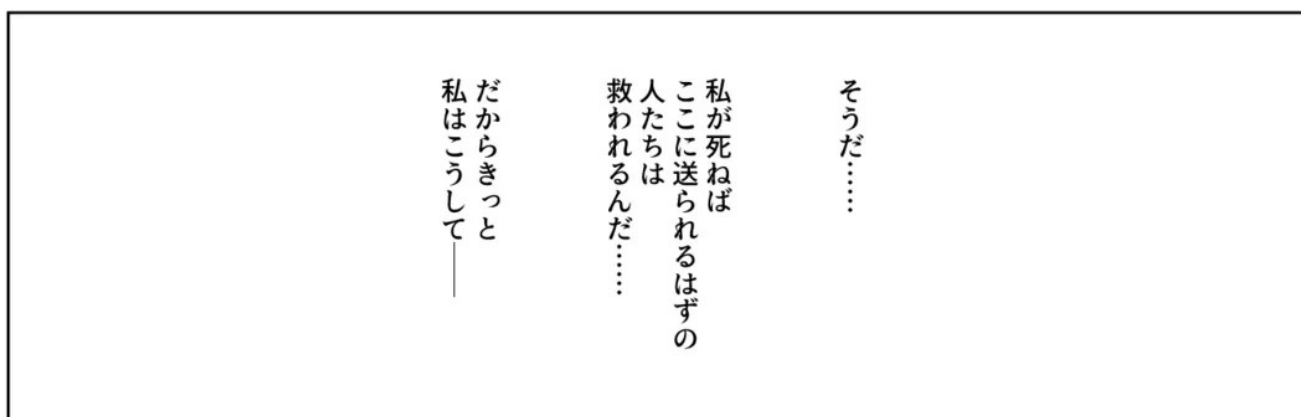
ささ
仕事仕事

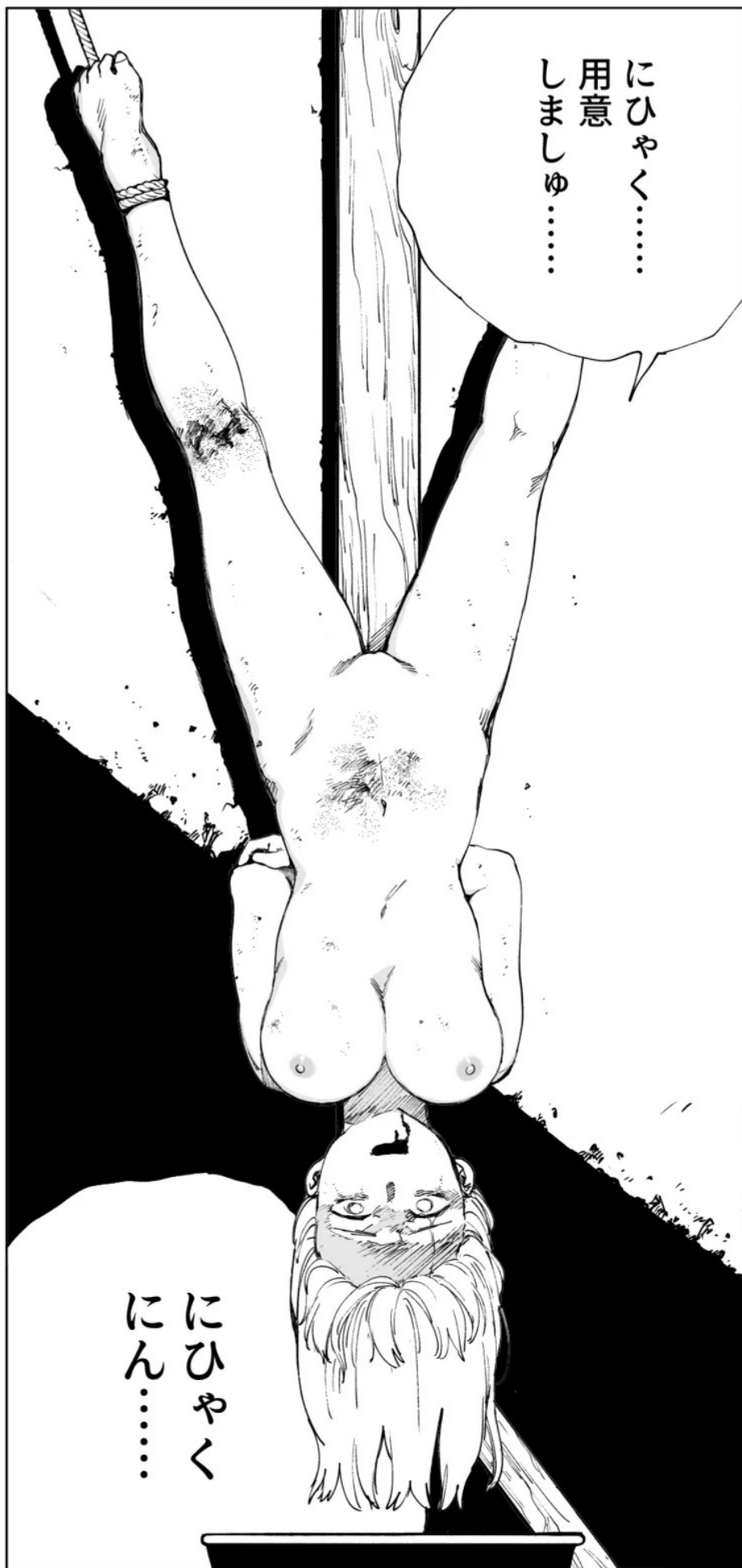
カ...

カ...



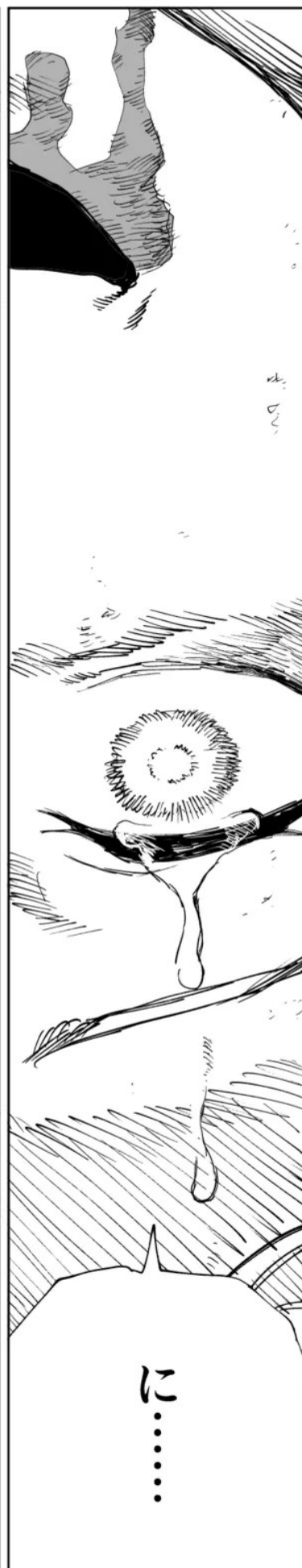




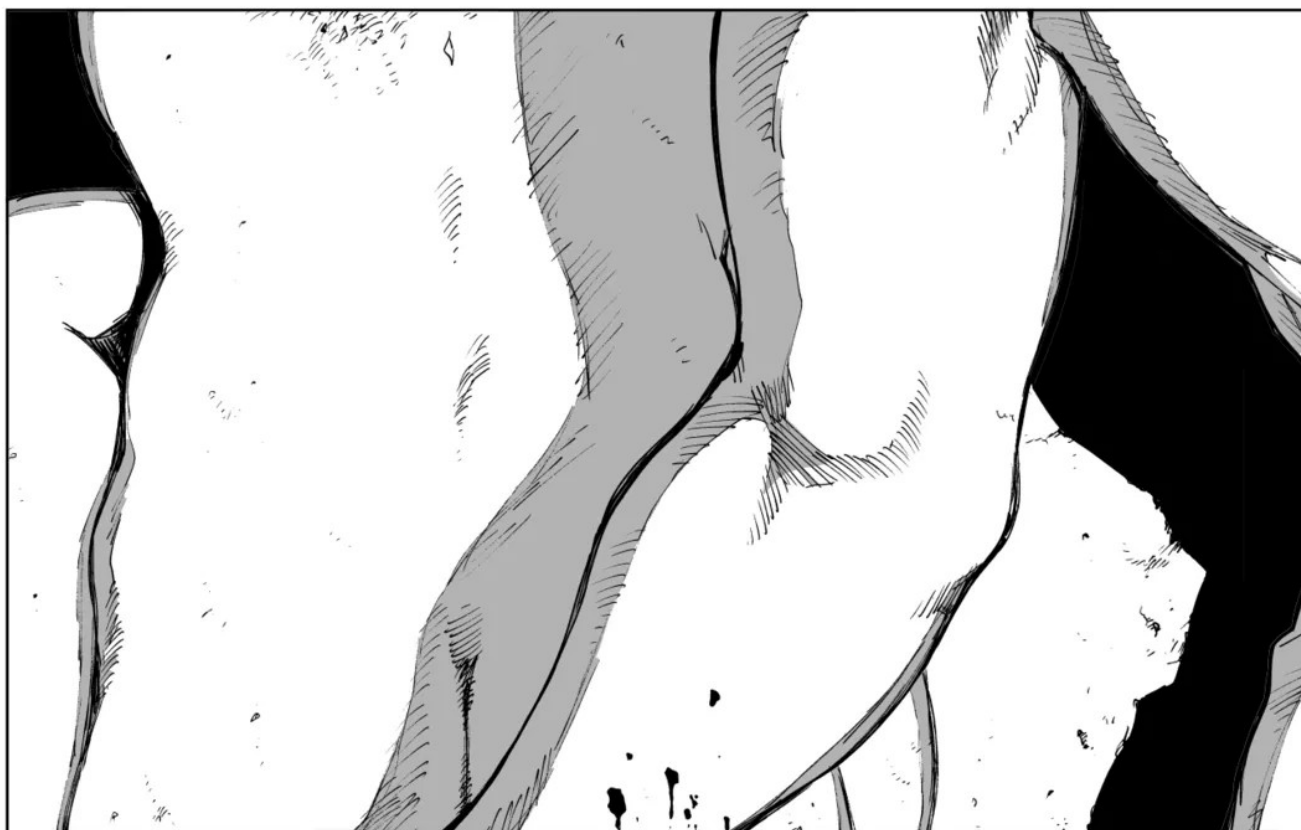


にひやく……
用意
しましゅ……

にひやく
にん……

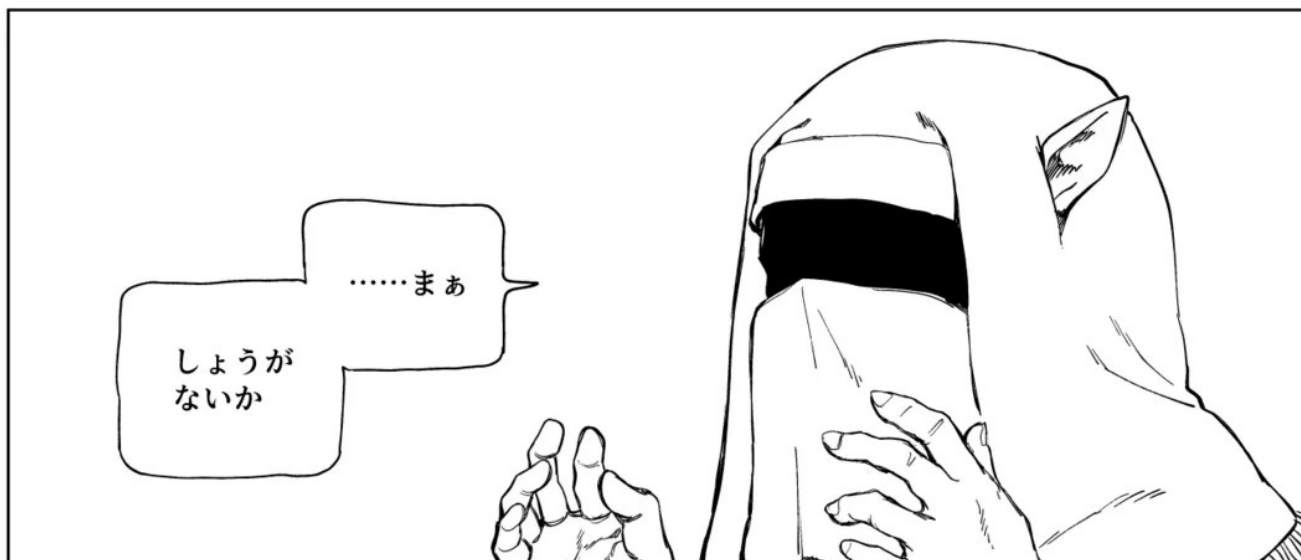


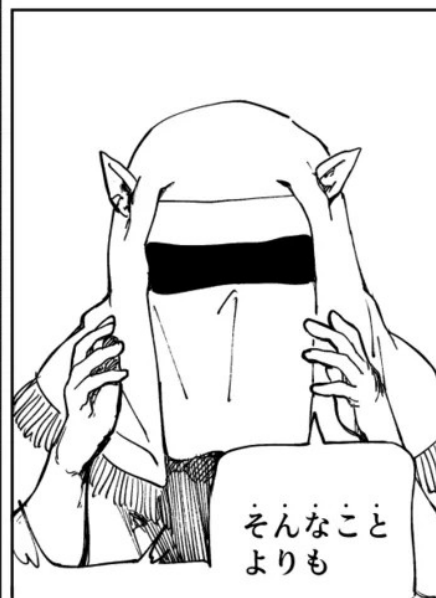
に……

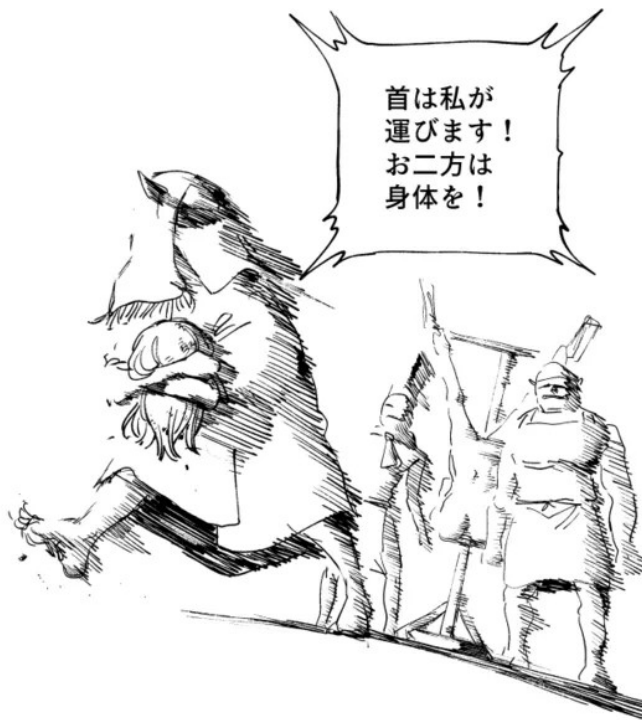












ええ
エルエルト国は
我々に喧嘩を
吹っ掛ける余力なんて
どこにもないことは
明らかです

それであれだ
今回の件
特に問題は
ないんだな

そもそも
オークに協力を
仰ぎに来たこと
そこにエルエルトの
実情が現れています

そうだなあ
万が一何か言われれば
そもそも使者は
来なかったことにして
しらを切ればいいか

人類の敵とでも
いうべきオークと
協力するだなんて
普通ありえる
でしょうか

ついでに
立地的に見ても
困難ですし

ま
売られてくる
100人ってのに
興味はあった
けどな

さて……

とはいえ
すぐ後ろで
穴に落ちたら
気付くだろ普通
ダフォおまえには
後でなにか
罰を与える！

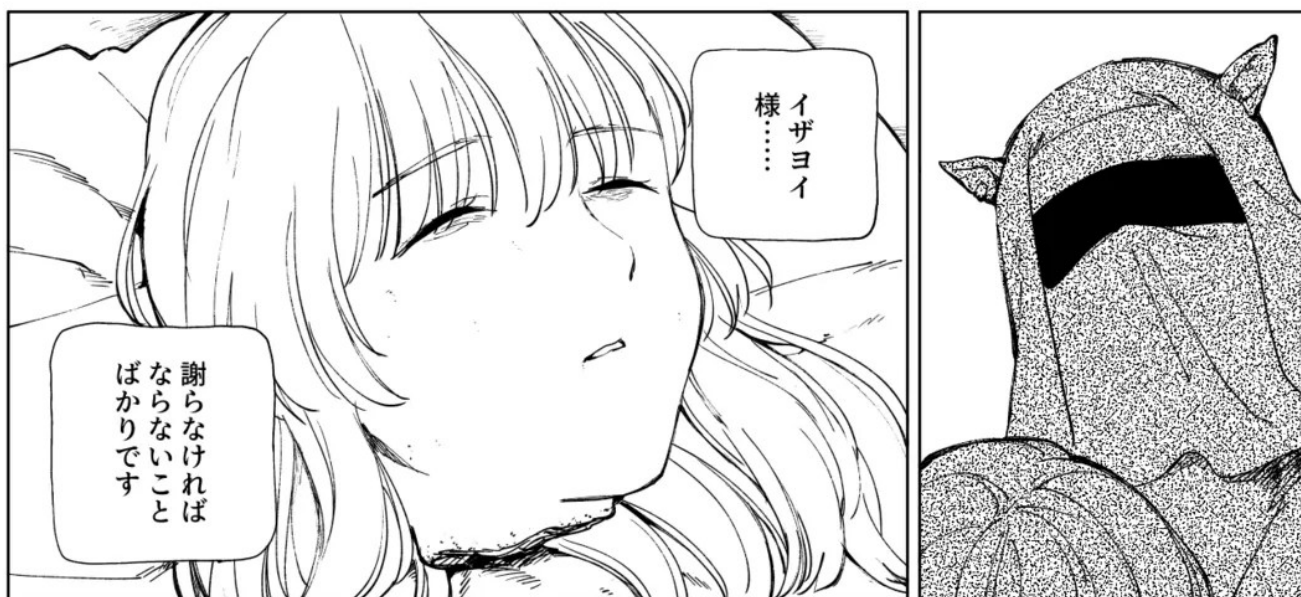
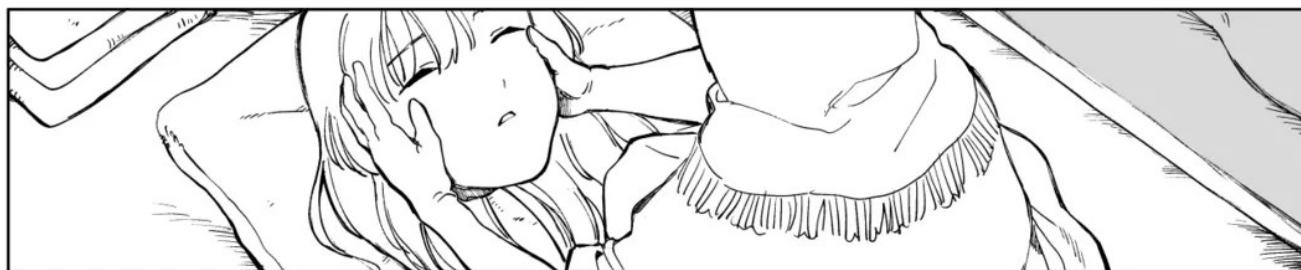
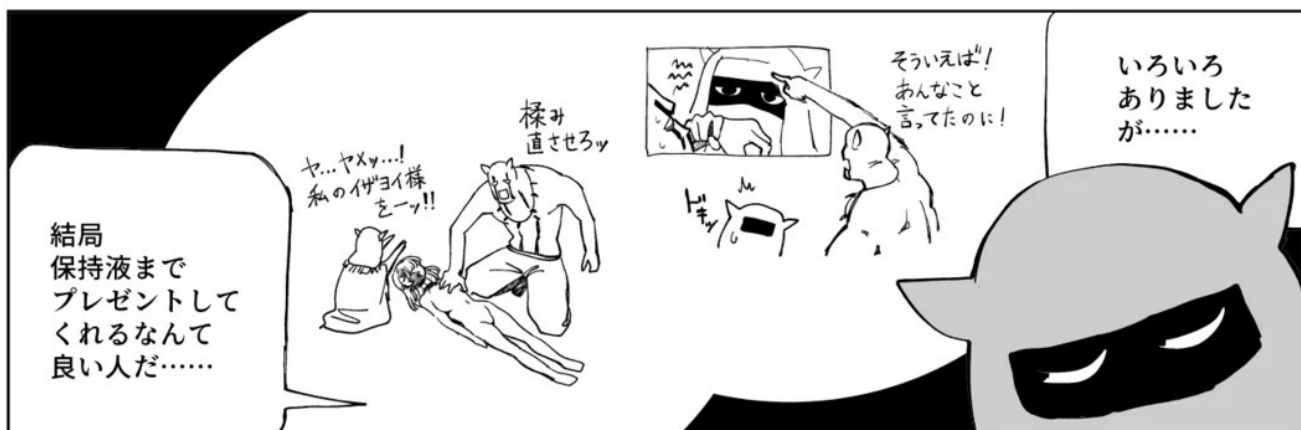
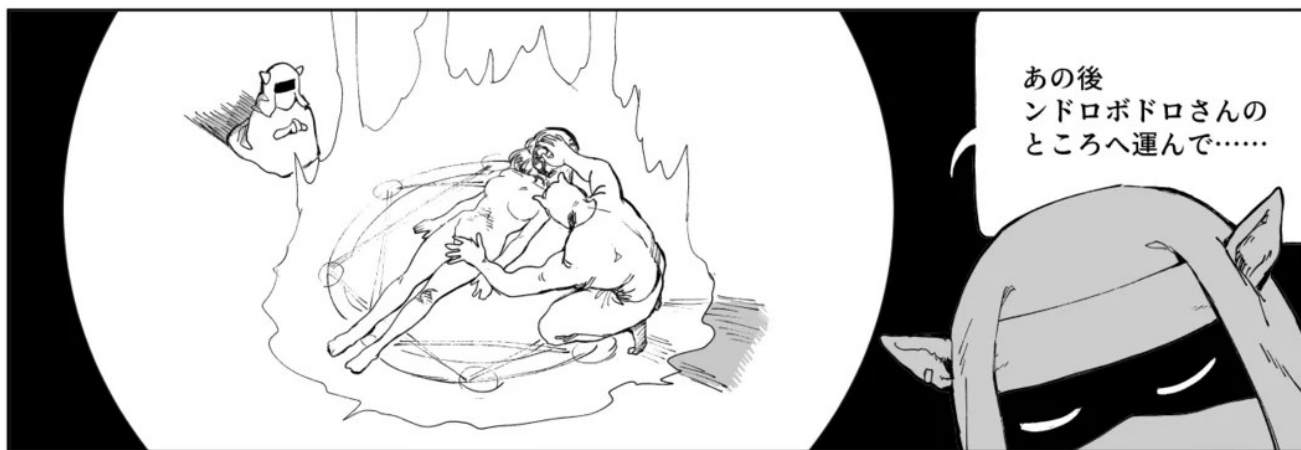
ごもとも
です



ダ"フォ
退室

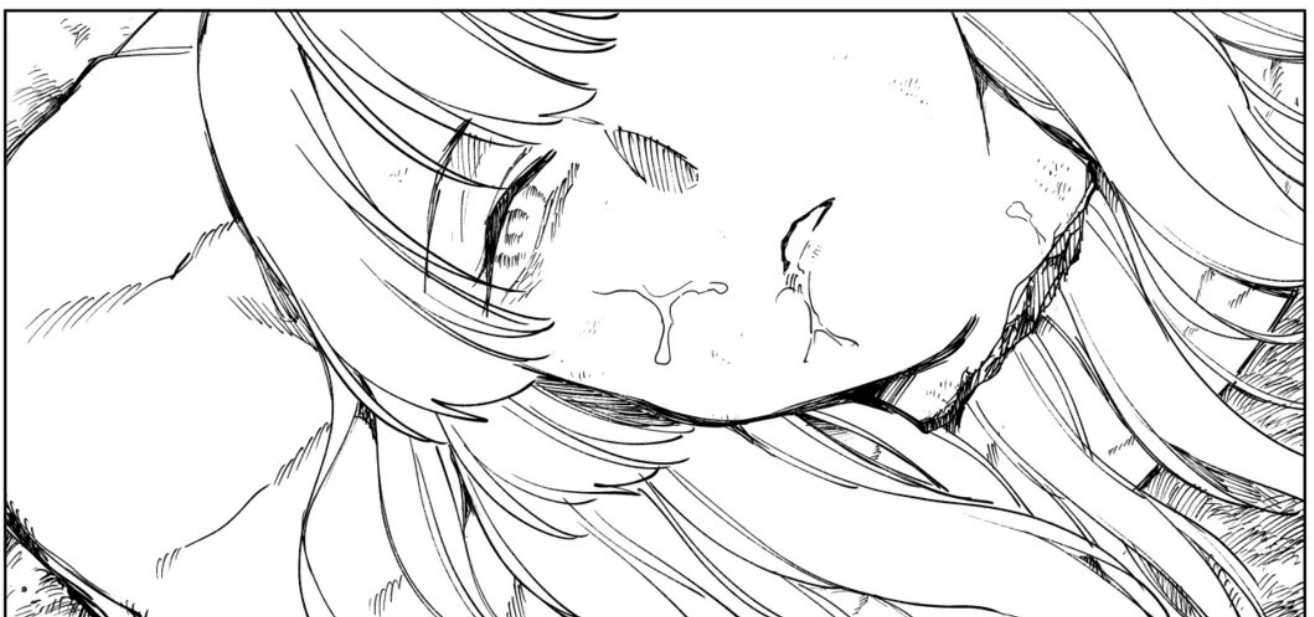
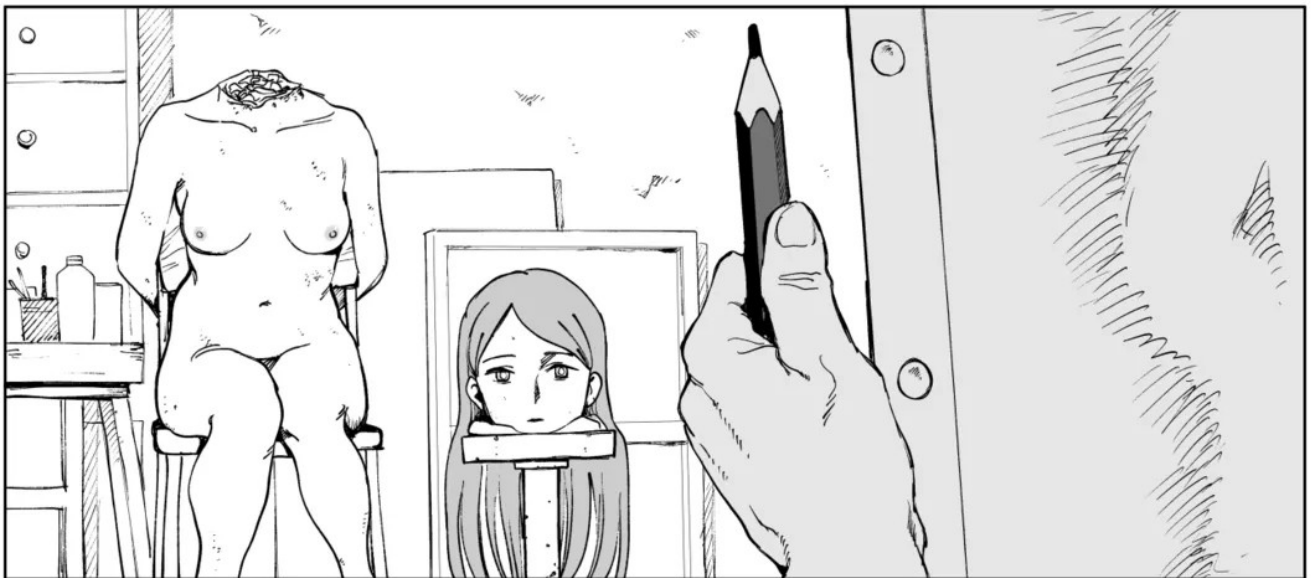


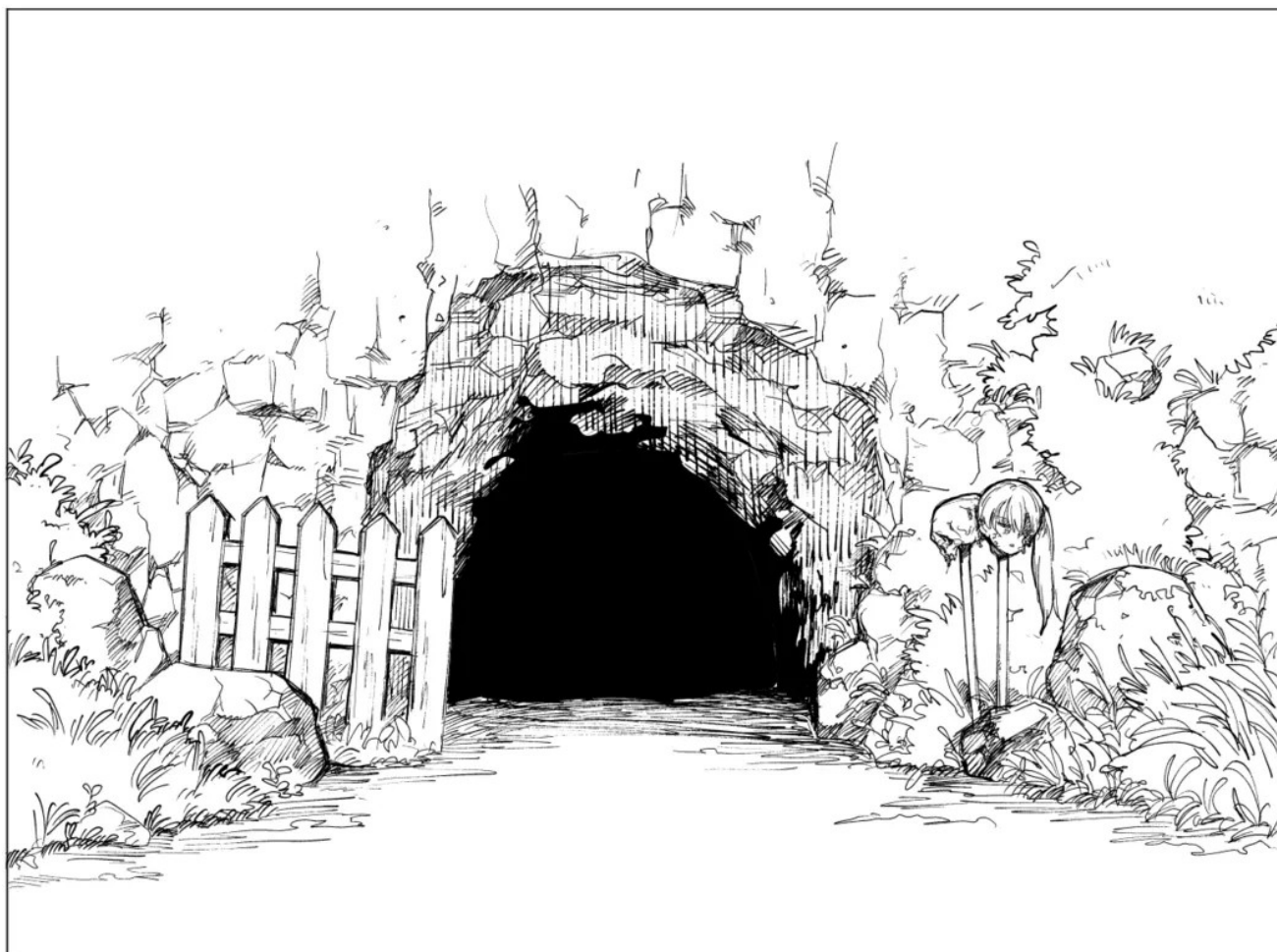
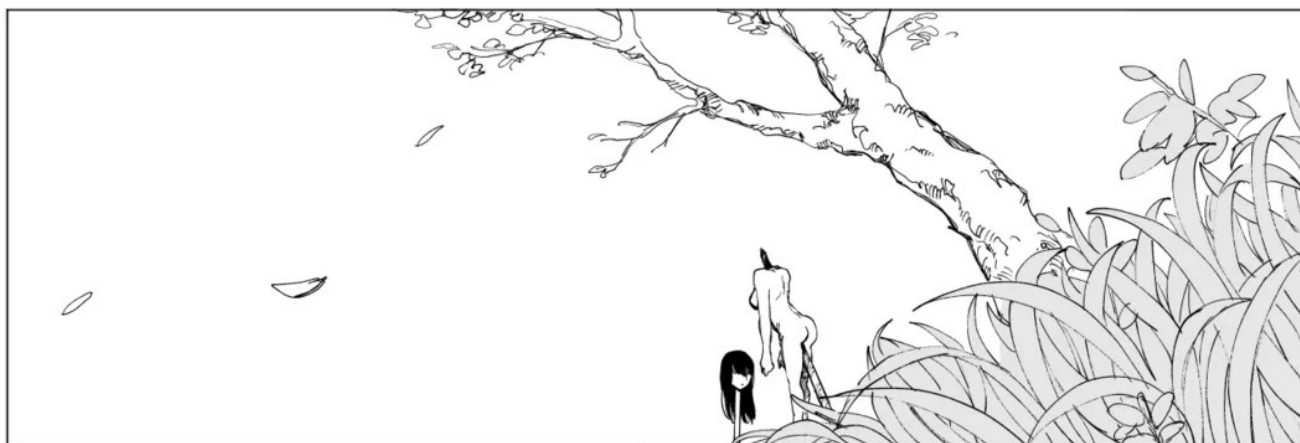




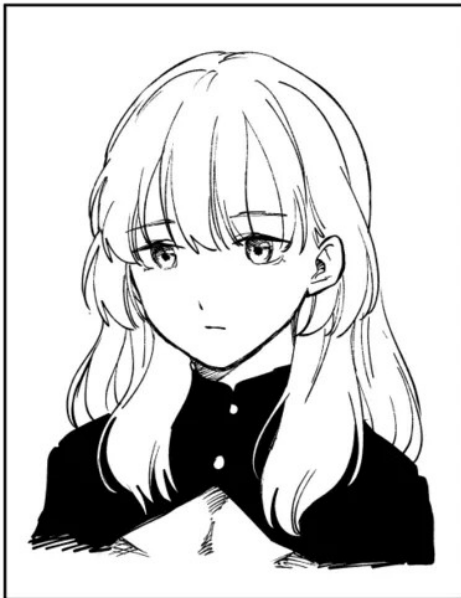








オークの巣窟 禁忌の協定 終



イザヨイ (24)

エルエルト国一の大学を優秀な成績で卒業し外交官になる。
生まれはエルエルト国の辺境の村であり、故郷はイザヨイの
在学中に侵攻を受け現在はヌマ国の領土となっている。
侵攻の際に村は戦火に包まれ家族の安否は分かっていない。
数少ないデュード語話者であったためオークの巣窟へ
向かう任を受ける。巣窟に向かったのち消息不明になる。

コック・オーク
調理の腕はコロニー1
人呼んでコック・オーク
元の名は捨てた



ギャバ
解体担当
グラマラスな女の解体が一番好き



ボボ
誰しものが認める
コロニー1の性豪

ドルトン
後に女の死体を主に描く正体不明の
画家として人間社会にも流通し高い評価を得る。
代表作に「落首拾い」「悲劇の外交官」などがある。



ンドロボドロ

オークの抱えてきた“女体不足問題”も過去のこと、ンドロボドロの開発した「保持液」および『腐敗防止(クサリニク)』はオークの生活に革命をもたらした。歴史の教科書がつくられるならば彼の名は載るにふさわしいと言えるだろう。弟子も多く、彼の指南を請うため遠方から足を運ぶ者も少なくない。



ザルポ

かつてこの地域では複数のオークコミュニティがバラバラに自治を行っていた。今や彼らは手を取り合いひとつの勢力として周囲の脅威に対応できる安定した力を手にしている。彼らをまとめ上げたのが現族長・ザルポでありそれを可能にしたのは彼のカリスマによるものであろう。

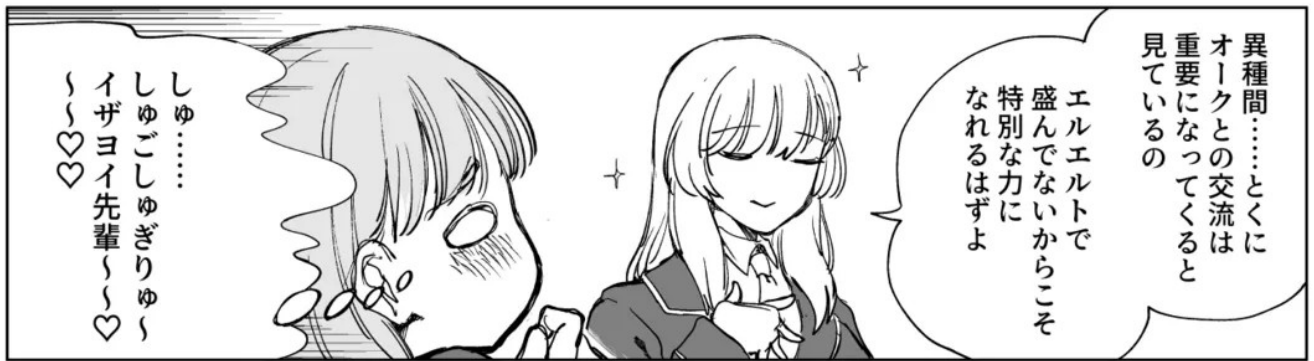
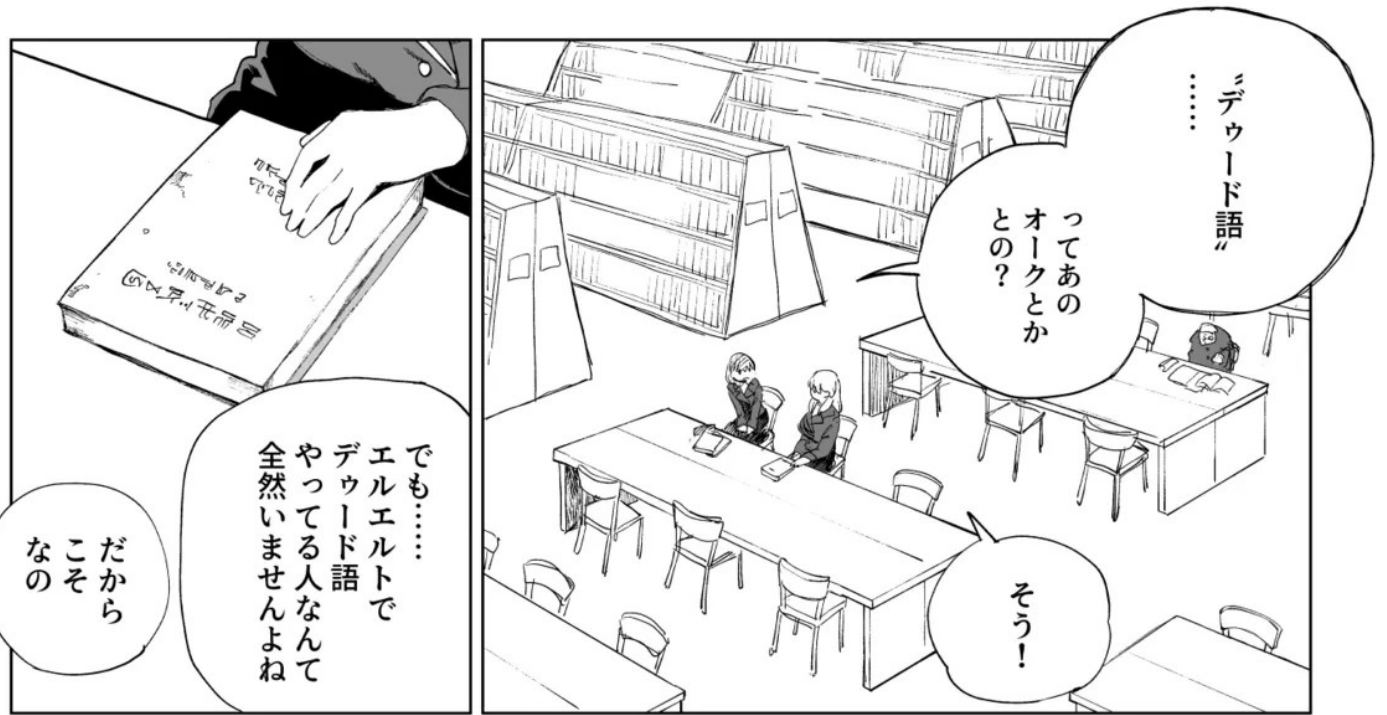


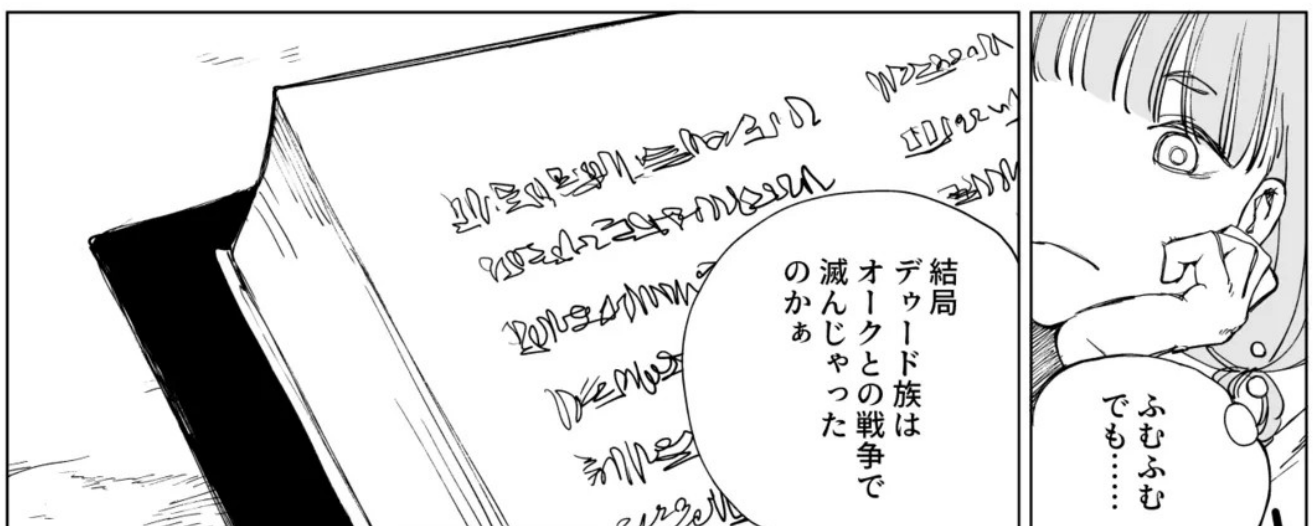
ダフォ

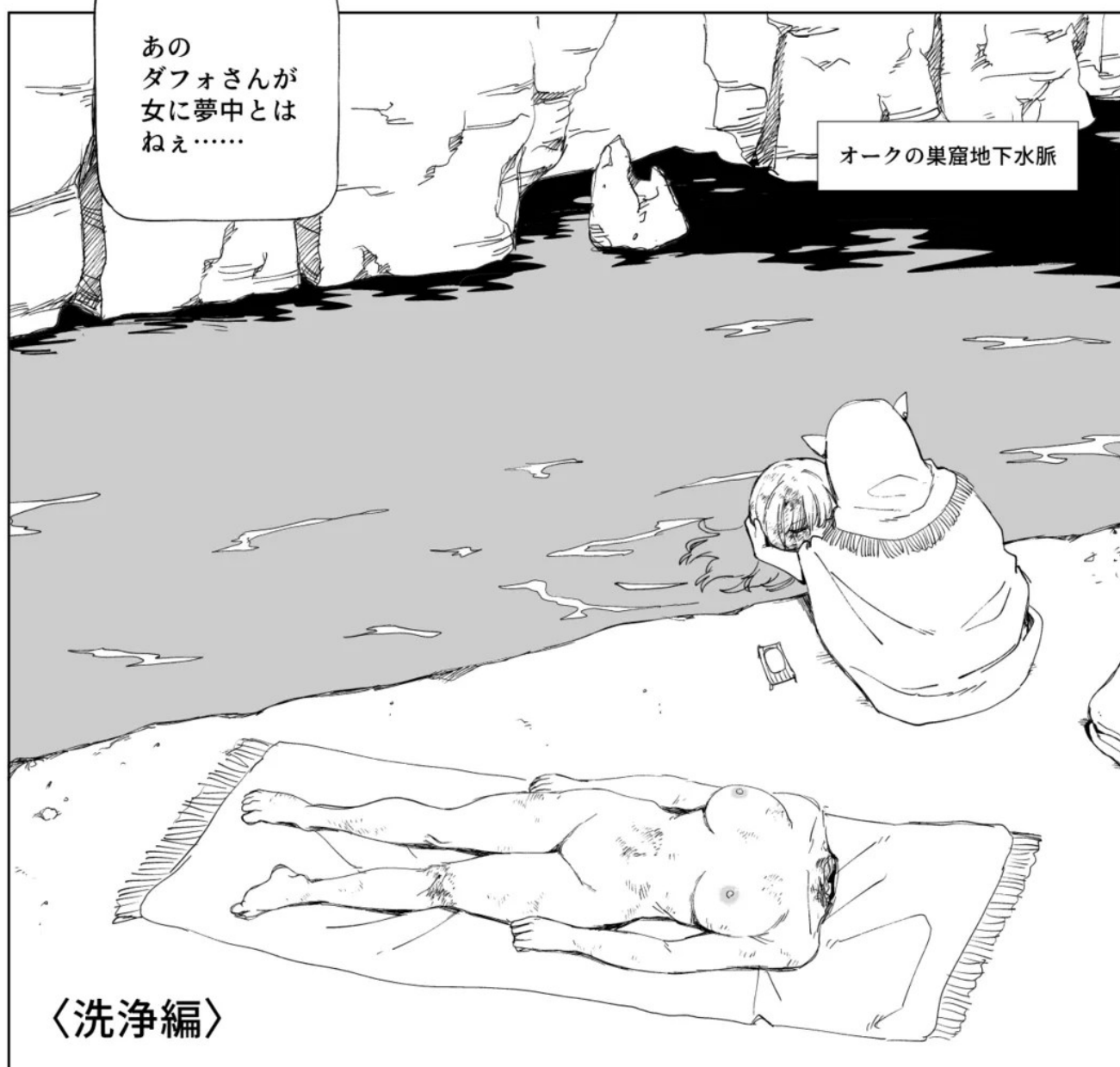
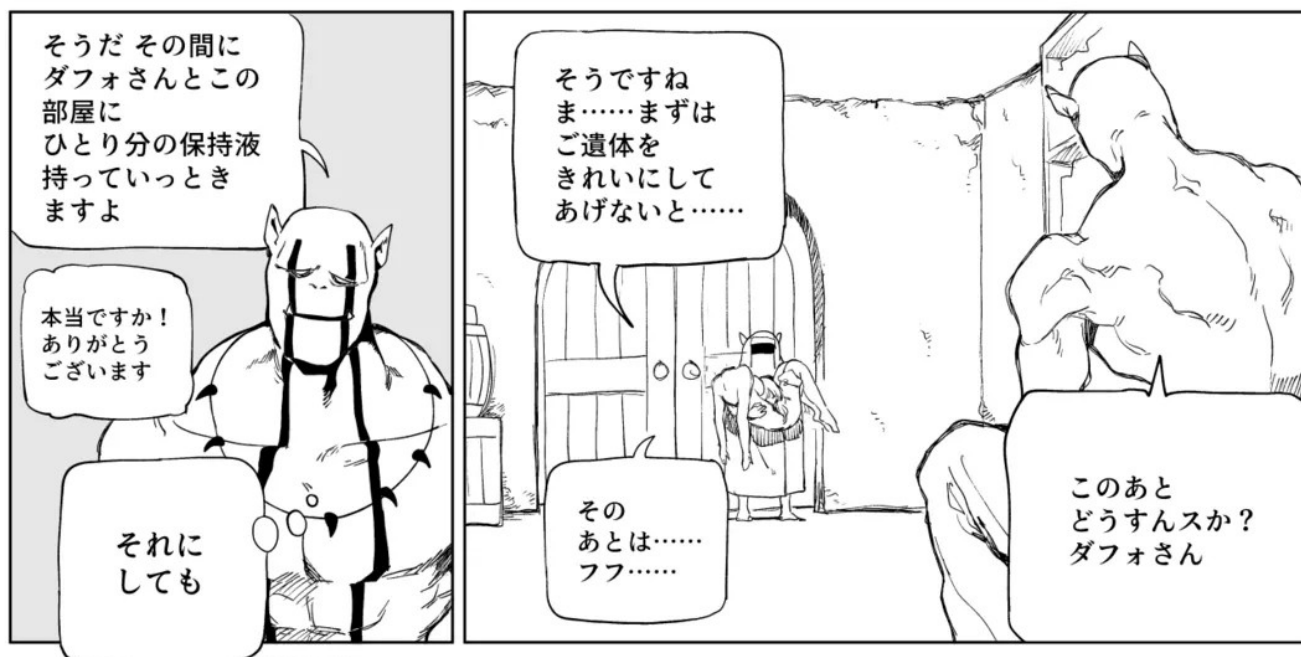
軍事戦略の立案に長けており、近年のオーク勢力の拡大において彼の功績は欠かすことはできない。「シーベス谷の戦い」にてメベール小队ロッダ率いるヌマ国軍を破りオーク軍を大勝に導いたことは記憶に新しい。

〈ゲッカとイザヨイ先輩(前編)〉











よく見ると
あちこちに傷が……
ですが付いた傷さえ
愛おしく思えます



これで拭き残しは……
おやおっぱいの下を
忘れていました
これでよし！



〈屍姦編〉



こちらもおかせません
こうして……と
お胸をお借りします



なんてやわらかさ……
イザヨイ様のお胸で
楽しめるなんて
私以上の幸せ者が
いるでしょうか



ビッ
ッ





イザヨイ様の
秘めたる部分を
覗かせていただく背徳感……
きれいだ……
ご生前はもっと
血色がよかったのでしょね



中を失礼します……!!
ムムッ……
今私はイザヨイ様と
繋がっている……!!
射精させていただきます!
イザヨイ様!

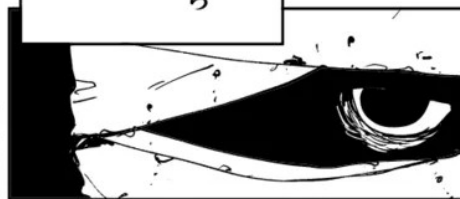




イザヨイ様
あれは
10年くらい
前でしうか



私がまだ幼く
焼かれた村から
逃げ出て
放浪生活を
していた
ときのこと



私はいつも
見つからない
彼女の面影を
探していたの
かもしれません

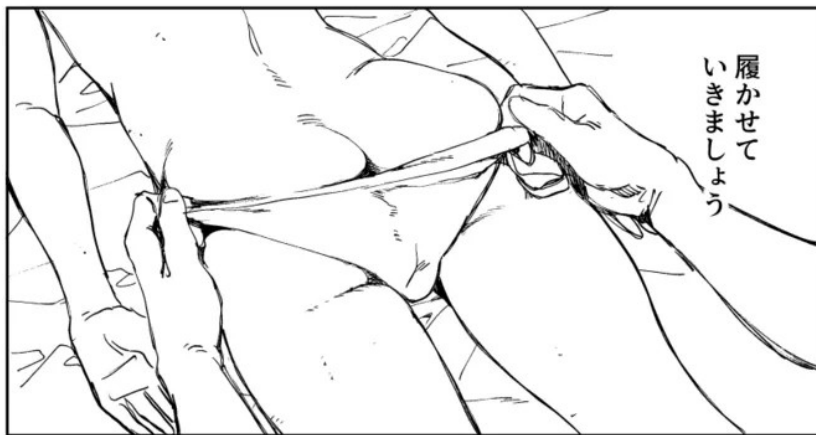
ずいぶんと
長く――

私は何日も
死体と共に
過ごしましたが
与えられた時間
はあまりに少な
く日に日に
腐ってゆく姿
に胸を痛めま
した

その後
このコロニー
に流れ着いて
多くの女性を
見てきましたが
不思議とあまり
心惹かれること
はありませんで
した

ゴブリンにでも
襲われたのだし
うその無惨な死
体は私の胸を貫
きました





履かせて
いきましよう



修復が
完了しました

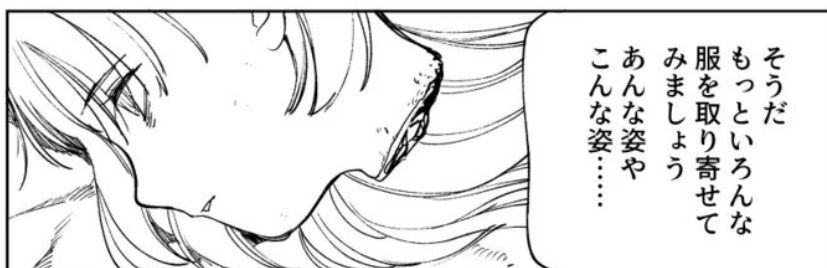
イザヨイ様の
お召し物！

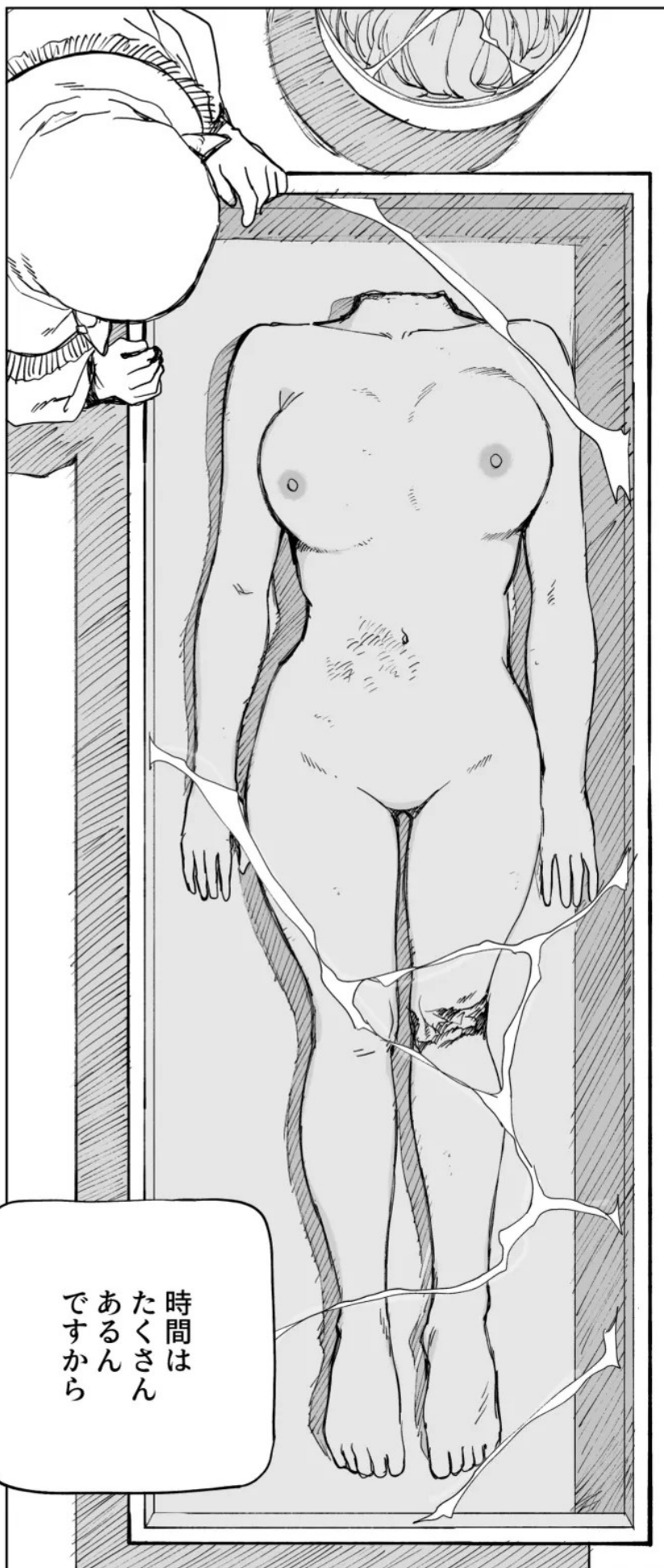


うんしょ……
下着姿も
素敵です



出会った時を
思い出します
あのときから
私の世界は
変わりました……





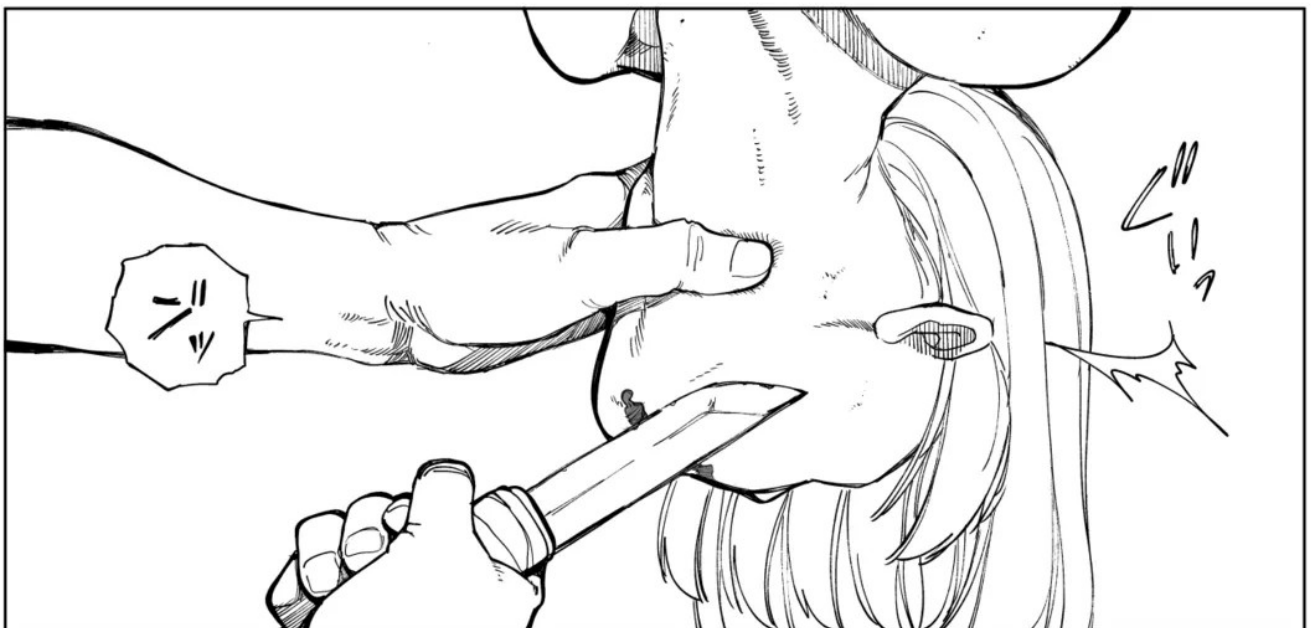
時間は
たくさん
あるん
ですら

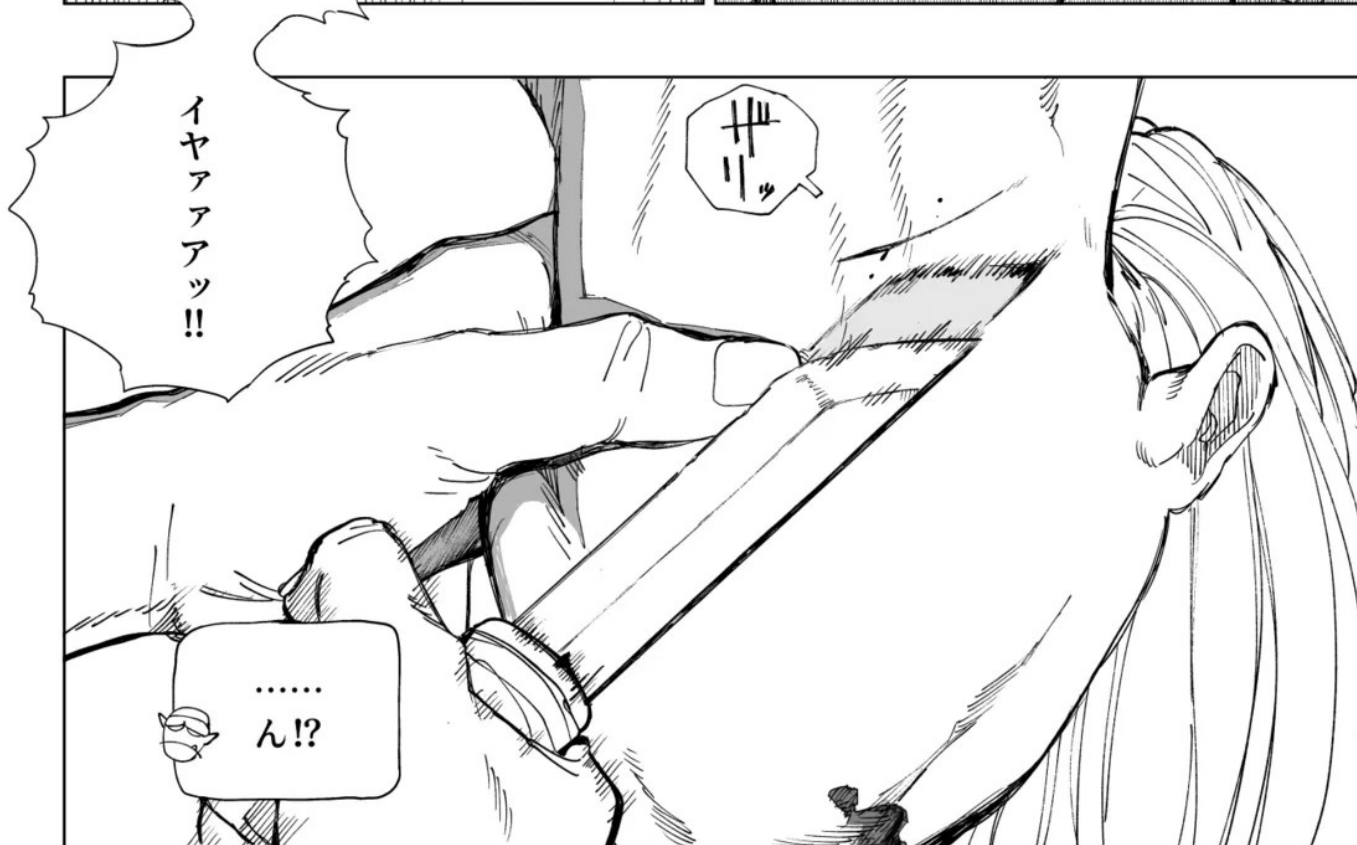
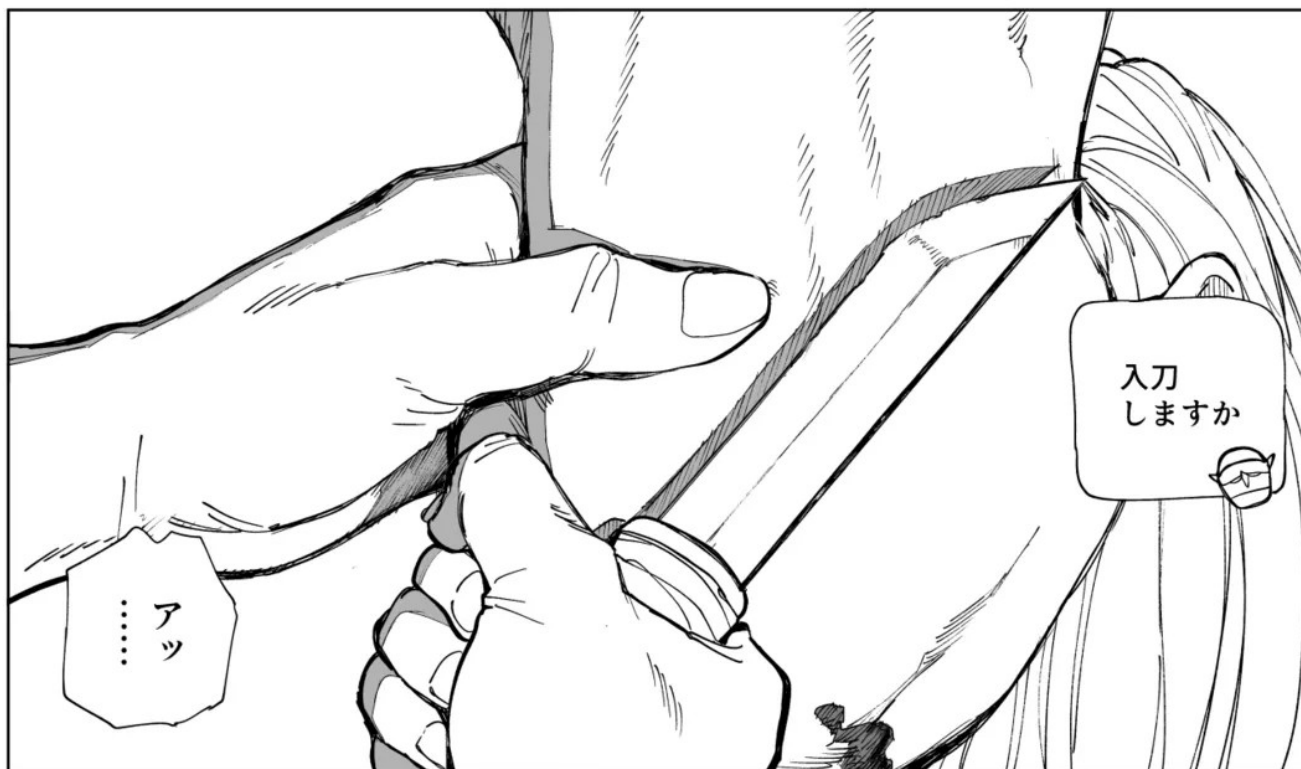
楽しみだなあ
たっぷり
楽しまないと



にひやく
にん……

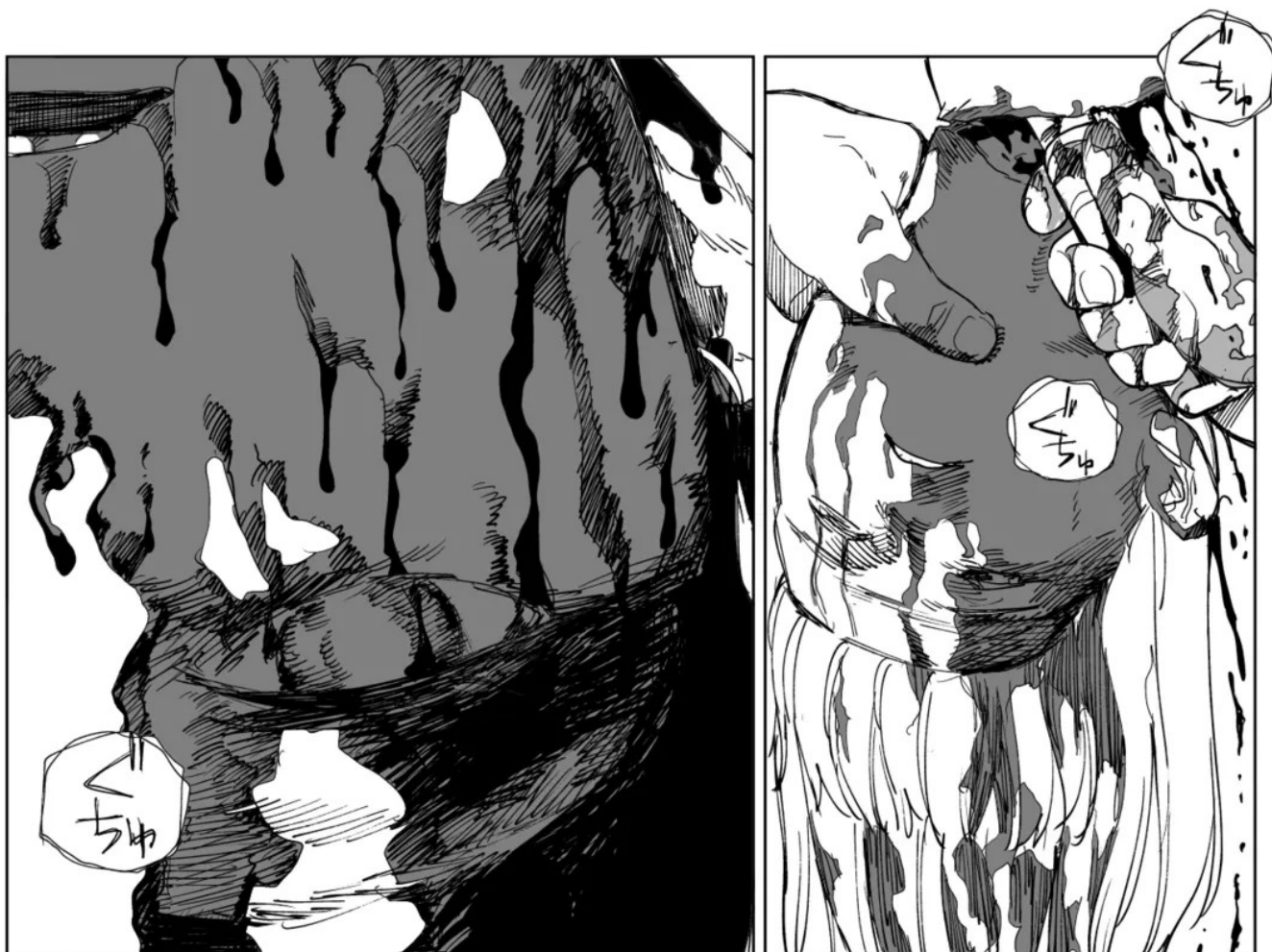
〈斬首編〉













〈斬首編・終〉

〈ゲッカとイザヨイ先輩(後編)〉

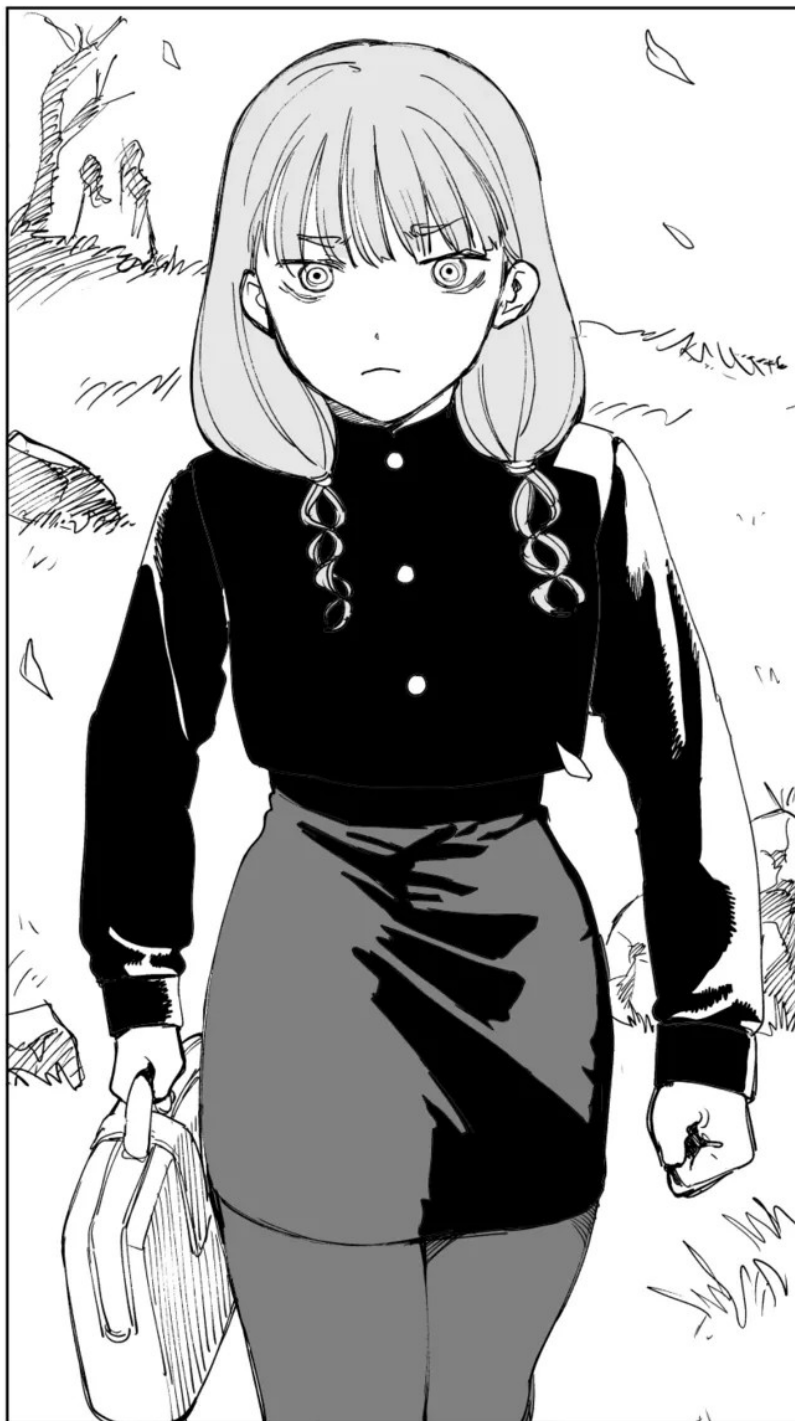


ヌマ国の
サノニト侵攻で
イザヨイ先輩の
故郷の状況が
分からなくな
ってからだ

みんなは
気付いて
ないかも
しれないけれ
ど私には分か
った



それから
イザヨイ先輩は
帰ってこなかった



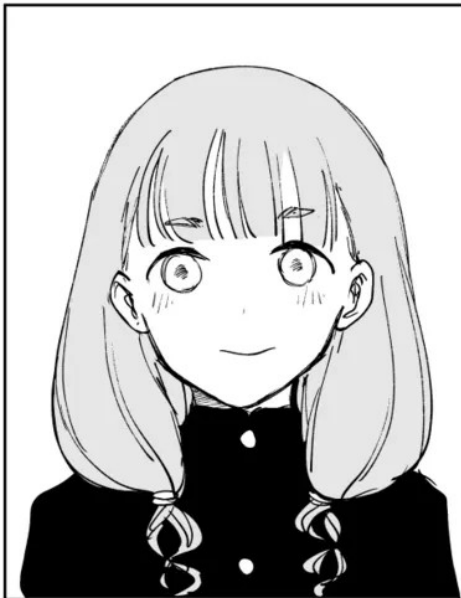
エルエルトは
二人目の使者を
出すつもりだった
そしてデウード語の話せる
私が任せられた
そこで私は初めて
二〇人の生贄のこと——
イザヨイ先輩が
抱えていた事情を知った

国の偉い人は
イザヨイ先輩は
殺されたと言
言っていたけれど
私は信じない
オークの巣窟には
イザヨイ先輩の
手掛かりがある
はずだった

イザヨイ先輩を
救えるのは
私だけ——
私が
行くしかない——

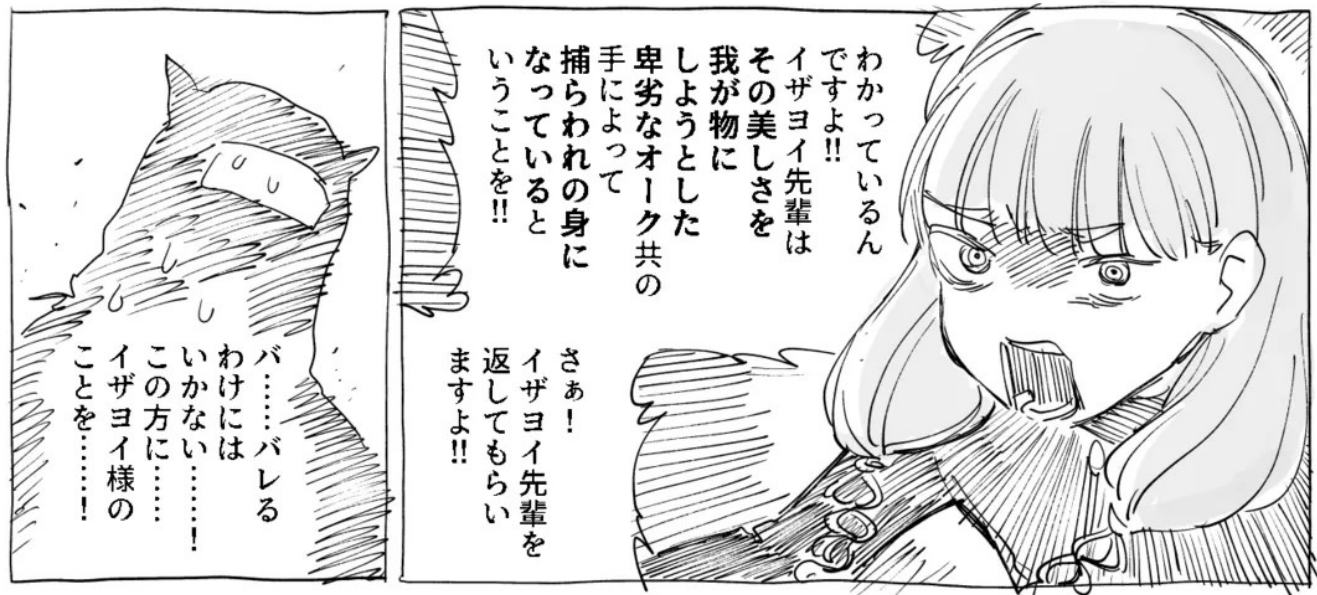
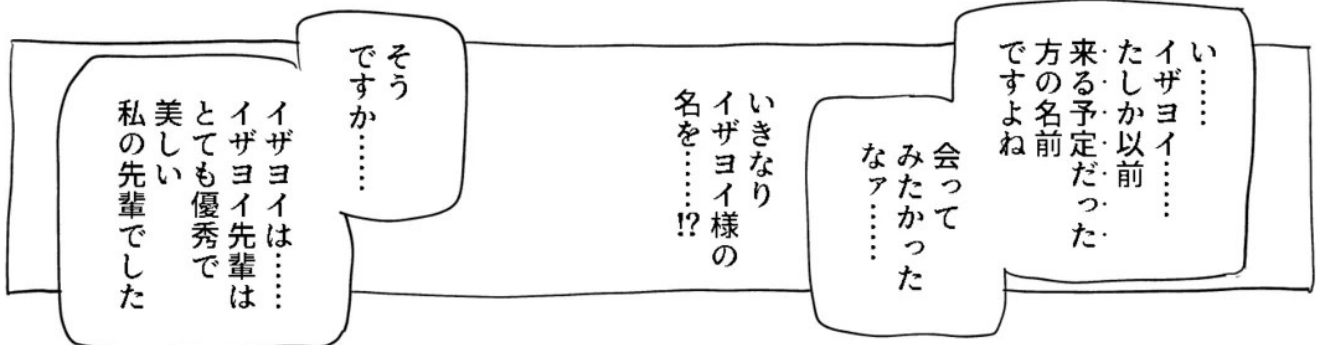
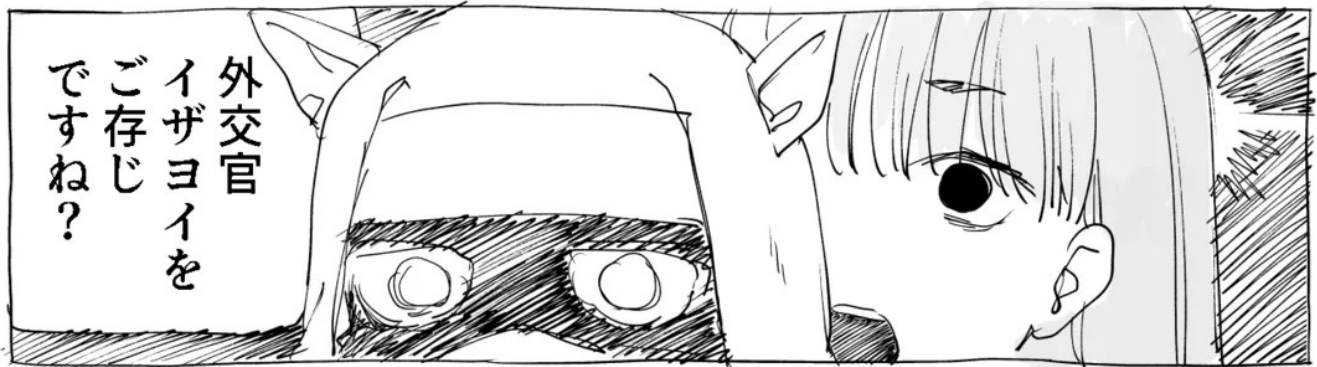


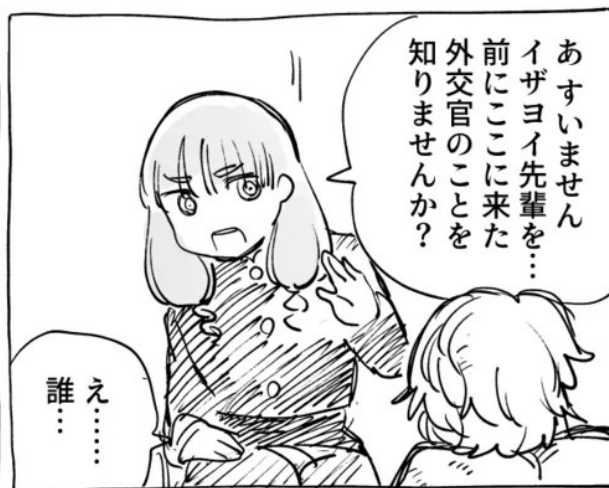
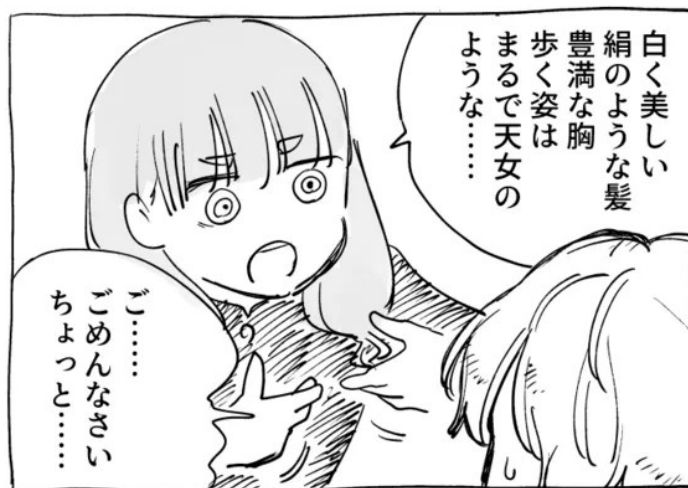
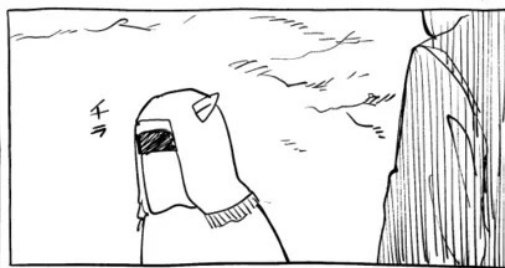
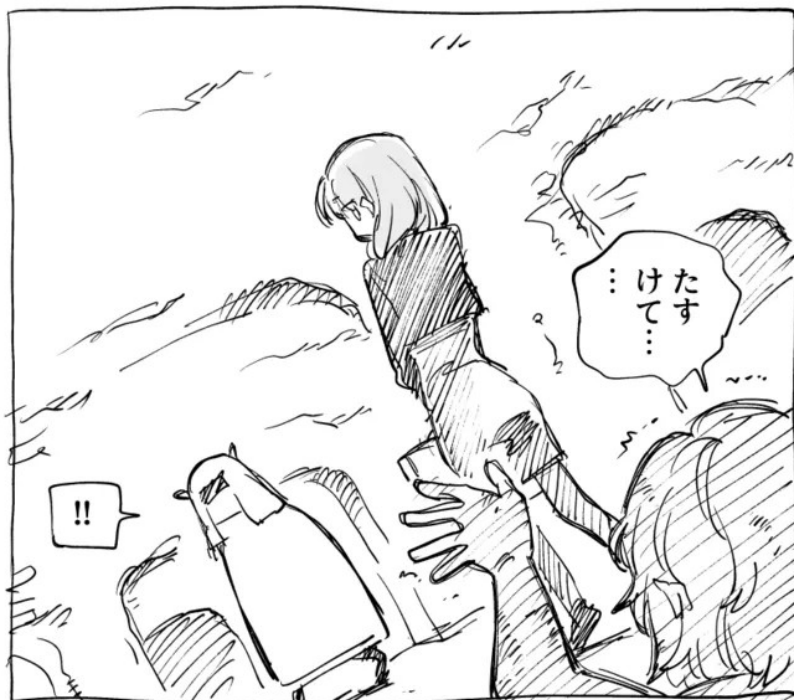
〈ゲッカとイザヨイ先輩(後編)・終〉

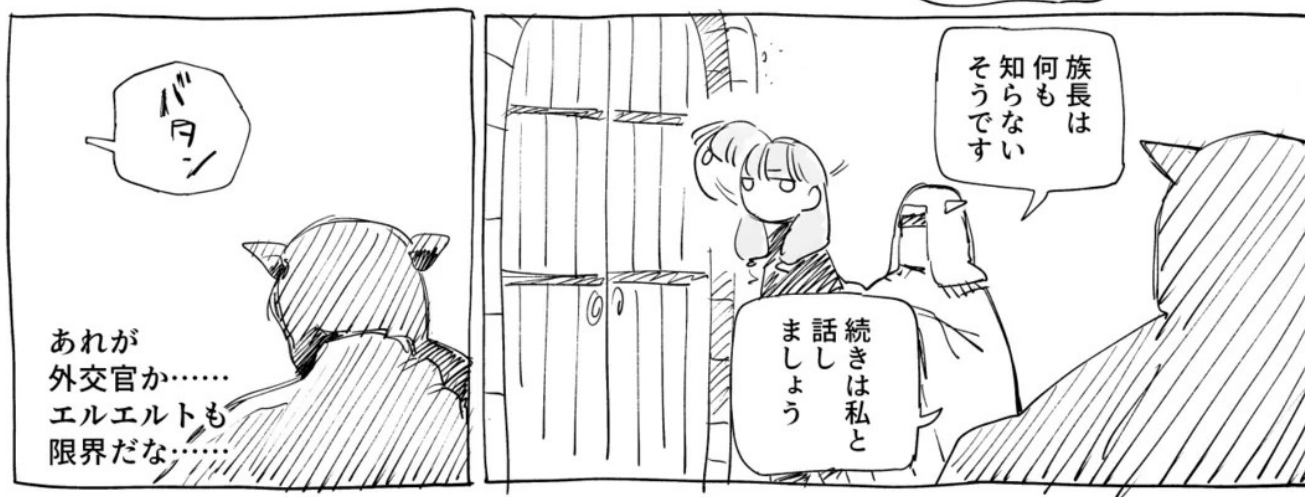


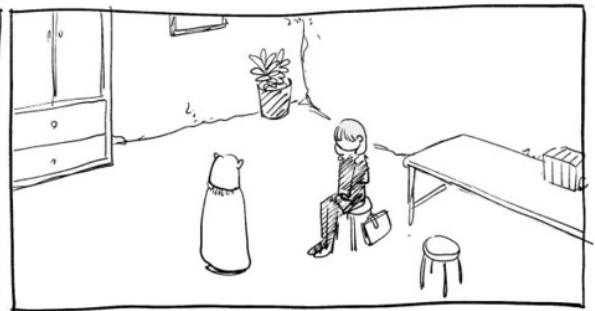
ゲッカ(22)

中流階級の貴族出身。
両親からのお見合いの提案を断り続けている。
イザヨイに一度髪を褒められたことをきっかけに
髪を伸ばし中。









おわり